

平成 25 年度  
道徳教育実践研究事業まとめ

指導  
資料

「道徳の時間」の充実のために



兵庫県道徳教育実践推進協議会  
兵庫県教育委員会

## はじめに

子どもたちの社会生活上のルールやマナー、規範意識の低下が指摘される中、道徳教育において豊かな心をはぐくみ、人間としての生き方の自覚を促し、道徳性を育成することは、社会の変化に主体的に対応して生きていくことができる人間を育成する上で非常に重要です。

国の中央教育審議会においては、道徳教育の重要性を改めて認識し、その抜本的な充実を図る観点から、道徳教育の在り方が検討されています。また、平成25年9月に施行されたいじめ防止対策推進法においても、「全ての教育活動を通じた道徳教育及び体験活動等の充実を図らなければならない。」と規定され、道徳教育を充実することは、一般のいじめ等生徒指導上のさまざまな問題の未然防止を図る観点からも大変重要とされています。

県教育委員会では、これまで学習指導要領及び「ひょうご教育創造プラン」に基づき、道徳的実践力を養う「道徳の時間」での学びと、道徳的実践の場である体験活動とを両輪として学校の教育活動全体において道徳教育の充実を図ってきました。

特に、「道徳の時間」の充実については、平成21年度に教師用指導の手引き『「生命を尊重する心」と「規範意識」の育成』を作成し、全体計画、年間指導計画を整備するとともに、読み物資料を活用した授業研究の充実を図りました。

また、平成23年度からは「兵庫版道徳教育副読本」を兵庫県内の公立小・中学生に個人配布し、道徳の授業での活用はもちろんのこと、家庭や地域の方々にも読んでいただけるよう進めてきました。加えて、教師用指導書をWeb上に公開し、平成24年度には、授業における留意事項やヒント等を記載した指導資料「副読本の効果的な実践のために」を各校に配布しました。

さらに平成25年度は、実践研究を行う10中学校区を推進地域として指定し、小中学校の連携のもと副読本を活用し、道徳の時間の授業研究を行うなど、中学校区の課題に合わせた道徳教育を推進しました。

この度、これらの取組の成果を「道徳教育実践推進協議会」の協力のもと、本冊子にまとめました。各学校において、この冊子を活用した授業研究を促進し、道徳の時間を要とした道徳教育を充実させ、子どもたちの豊かな心を育成することを期待します。

最後になりましたが、本冊子を発行するにあたり、ご尽力いただきました「道徳教育実践推進協議会」の横山利弘委員長をはじめ委員の皆様、各推進地域の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成26年3月

兵庫県教育委員会

# 目 次

## I章 道徳教育の基礎・基本

1	道徳教育と道徳の時間の役割	1
2	道徳の時間で育成する道徳的実践力	1
3	道徳の時間における教材	2

## II章 兵庫版道徳教育副読本と道徳の時間の指導

1	兵庫版道徳教育副読本の特徴	3
2	道徳の授業展開のポイント	3
3	ねらいにせまる授業づくりのポイント	5

## III章 小・中連携、家庭・地域との連携

1	小・中学校の連携	7
2	家庭・地域との連携	9

## IV章 副読本を活用した「道徳の時間」の実践事例

### ◆こころはばたく

「たんばやきのふるさと」	1 1
「ゆめをもって - 沖中重雄 -」	1 2
「長田の町にガオー! - 横山光輝 -」	1 3

### ◆心きらめく

「オサムシくん - 手塚治虫 -」	1 4
「オオムラサキのたん生」	1 5
「但馬に牛を - 前田周助 -」	1 6

### ◆心ときめく

「忘れない夏 - 嘉藤栄吉 -」	1 7
「逆境からのプレーボール - 村山実 -」	1 8
「わが道を歩む - 池田草庵 -」	1 9
「未来をつくる仕事 - 三島徳七 -」	2 0

### ◆心かがやく

「運命の木 - 姫路城の大柱 -」	2 1
「事典をつくった人 - 下中弥三郎 -」	2 2
「手塚作品を貫くもの」	2 3
「留さんのボギー - 宮本留吉 -」	2 4
「洋子の播州歌舞伎 - 伝統の若き後継者 -」	2 5
「地図をもたない旅人 - 湯川秀樹 -」	2 6
「伝統をつむぐ - 赤穂緞通織り -」	2 7
「人としての修行 - 鶴澤友路 -」	2 8
「ひとすじの道 - 城ノブ -」	2 9
「夕やけ小やけの赤とんぼ - 三木露風 -」	3 0

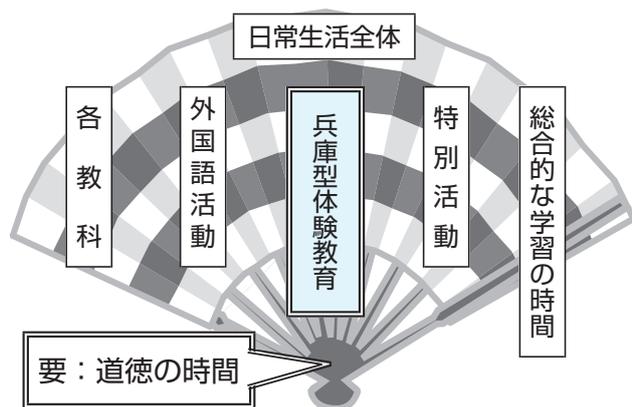
## V章 資料

◆授業研究	3 1
◆道徳教育推進事業	3 3
◆道徳教育実践推進協議会委員一覧	3 4
◆参考資料	3 4

# I 章 道德教育の基礎・基本

## 1 道德教育と道德の時間の役割

道德教育は、道德性を養うことを目標として、各教科、外国語活動（小学校）、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童生徒の発達の段階を考慮して適切な指導を行わなければならないものです。



道德の時間は、学校の教育活動全体を通じて行われる道德教育の要としての時間としての役割を担っています。

各教育活動には、それぞれに固有の目標があり、計画的指導が行われていますが、それらの指導だけでは道德的実践力を育成するために十分な成果をあげることができないものです。

道德の時間は、その断片的な不十分さを補充し、自覚に至るよう深化し、すべての価値に出会えるように統合する時間です。

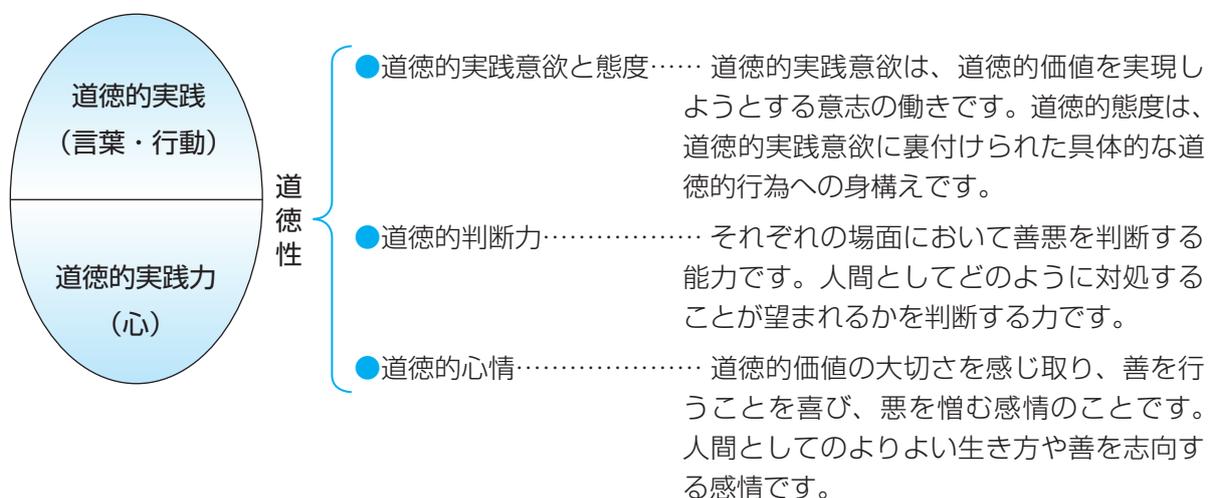
### ○道德の時間の目標

（小学校）道德的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道德的実践力を育成する。

（中学校）道德的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道德的実践力を育成する。

## 2 道德の時間で育成する道德的実践力

■道德教育は、道德的実践力（心）と道德的実践（言葉・行動）の指導が相互に響き合って、一人一人の道德性を高めていくものであり、道德の時間は道德的実践（言葉・行動）の基盤となる道德的実践力（心）を育成する時間です。



## 道徳的実践力とは・・・

- 人間としてよりよく生きていく力であり、一人一人の児童生徒が道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、将来出会うであろう様々な場面、状況においても、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような内面的資質です。それは主に、道徳的心情、道徳的判断力、道徳的実践意欲と態度を包括するものです。
- 道徳的実践力は、徐々に、しかも着実に養われることによって、潜在的に、持続的な作用を行為や人格に及ぼすものであるだけに、長期的展望に立って発達の段階を踏まえ、計画的に丹念な指導が必要です。

### 3 道徳の時間における教材

道徳の時間に生かす教材は、児童生徒が道徳的価値の自覚を深めていくための手掛かりとして極めて大きな意味をもっています。また人間としての在り方や生き方などについて多様に感じ、考えを深め、互いに学び合う共通の素材として重要な役割をもっています。

したがって、道徳の時間に用いられる教材の具備すべき要件として、まず次の点を満たすことが大切です。

#### ※具備すべき要件

- 人間尊重の精神にかなうもの
- ねらいを達成するのにふさわしいもの
- 児童生徒の興味や関心、発達の段階に応じたもの
- 多様な価値観が引き出され深く考えることができるもの
- 特定の価値観に偏しない中立的なもの

また、児童生徒がより学習に意欲的に取り組み、学習への充実感をもち、道徳的価値の自覚を深めることができるようにするために、さらに次のような要件を具備する教材を選択することが大切です。

#### ※配慮すべき要件

- 児童生徒の感性に訴え、感動を覚えるもの
- 人間の弱さやもろさに向き合い、生きる喜びや勇気を与えられるもの
- 生や死の問題、先人が残した生き方の知恵など人間としてよりよく生きることの意味を深く考えさせることができるもの
- 体験活動や日常生活等を振り返り、道徳的価値の意義や大切さを考えることができるもの
- 悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題について深く考えることができるもの
- 多様で発展的な学習活動を可能にするもの

## II章 兵庫版道徳教育副読本と道徳の時間の指導

### 1 兵庫版道徳教育副読本の特徴

兵庫版道徳教育副読本（以下、「副読本」という。）の読み物資料は、兵庫にまつわる題材（先人、自然、伝統文化）をもとに書き下ろし、道徳の時間の主要な教材として使われることを想定して、主人公が道徳的価値を自覚するプロセスを考えさせる「しかけ」など、構成上の工夫を施しています。

- |                   |  |
|-------------------|--|
| ①主人公が道徳的価値を自覚する資料 | 主人公が道徳的価値を自覚する姿を描き、児童生徒がその姿から道徳的価値の自覚を体験する |
|                   | ②主人公の生き方を貫く信念を描いた資料                        |

これらを活用する授業では、主人公の心の揺れ・変化・高まりを考えさせる発問構成の工夫が求められます。つまり、児童生徒が第三者的な視点から主人公の行為を分析するのではなく、主人公に自己を投影させて道徳上の問題について考えさせる授業展開が道徳の時間では重視されます。

また、家に持ち帰って家族と一緒に読めることも副読本作成の1つの方針としていることから、中には児童生徒にとって読みごたえのある内容になっている資料もあります。資料が長い場合は、前もって読ませる、資料の一部を教師が簡潔に説明する等の工夫をします。発達段階によっては、挿絵を用いて、紙芝居風に資料提示することが理解の手助けに有効です。

### 2 道徳の授業展開のポイント

兵庫県教育委員会では、平成21年度に『指導の手引き「生命を尊重する心」と「規範意識」の育成』を作成しました。読み物資料の分析、授業の構想の在り方等については、これを参照してください。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/houkoku/21doutokutebiki.pdf>

ここでは、授業展開のポイントについて、紹介します。

#### ◇ 導入段階

主題に対する児童生徒の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の自覚に向けて動機付けを図る段階です。

#### ポイント 導入は簡潔に

副読本では兵庫ゆかりの先人を多く取り上げていますが、その人物の生き方が出ている「事実」（人生の一部）を切り取って、資料化しています。その先人の業績については必要があれば読み物資料のプロローグやエピローグに掲載しています。「自然」や「伝統文化」についても、人物の心の動きを抽出できるような資料となっています。このため、児童生徒にとって詳細な時代背景の理解や専門的な知識は必要ありません。中心発問でしっかり考える時間を確保するため、導入段階に多くの時間をかけないことが大切です。

◇ 展開段階

ねらいの根底にある道徳的価値を理解し、それを児童生徒自らが自分のこととしてとらえ、道徳的価値を自覚する授業における最も大切な段階です。

資料の範読

ポイント

スピードは、児童生徒の思考の速さに合わせた読みに心がける。長い資料であっても急がず、児童生徒がイメージできるようにゆっくり読み、読み終わって改めてあらすじを説明しなくてすむようにする。

範読のあと、一呼吸の間をおき、児童生徒が資料の余韻に浸れるようにする。

基本発問

最初の発問は、書いてあることを答えさせる簡単なもので、発言しやすい雰囲気をつくるとよい。例えば、小学校では登場人物の確認など。

各発問の前に場面状況を説明し、児童生徒が考えやすいようにする。

基本発問

中心発問までは、ストーリーが掴めたらよいので、発問が多くなならないようテンポよく進め、15～20分程度を目安とするとよい。

中心発問をする前に、中心の問題が何であるかをわかるように、場面状況を簡潔に説明するとよい。

中心発問

児童生徒の発言を受容、承認し、発言の裏にある思いをキャッチするよう心がける。

児童生徒が更に深く考えられるように、問い（補助発問）を準備しておく。

中心発問のところは、授業の「山」なので、十分に時間をかける。15分～20分程度を目安とするとよい。

◇ 終末段階

ねらいとする道徳的価値をまとめたり、温めたりして今後につなげる段階です。

ポイント 終末は余韻を残す

終末は余韻を残して終わりたい。教師の説話、感想を書く等の活動が考えられますが、教師の価値観を押し付けないことが重要です。

(平成24年度「副読本の効果的な実践のために」から抜粋)

### 3 ねらいにせまる授業づくりのポイント

道徳的実践力は、人格の全体に関わるものです。道徳の時間においては、こうした点を踏まえ、発達の段階に応じた適切なねらいを設定し、授業のねらいとのかかわりにおいて、観察、会話、作文など様々な方法で児童生徒の良い点や進歩の状況を捉えるとともに、ねらいにせまる授業づくりに努めることが重要です。推進地域の実践の中から寄せられた、授業づくりのポイントは、(1) 適切なねらいの設定、(2) 発問の吟味、(3) 資料提示の工夫 (4) 児童生徒の対話等でした。

#### (1) 適切なねらいの設定

- 内容項目の発展性をふまえる  
内容項目を小学校低学年から中学校まで通して見て、どの段階のどの部分をやるのかを明確にする必要があります。それぞれの発達の段階において、児童生徒の実態を基に、児童生徒自身が道徳的価値の自覚を深め発展させていくことができるように、適切なねらいを設定することが大切です。

#### (2) 発問の吟味

- どう発問するかによって、子どもの答えは違ってきます。中心発問にいたるまでの前半の問いは、書いてあることを答えてストーリーがわかればよいのです。しかし、中心発問は、授業の「ヤマ」ですから、ねらいに迫る必要があります。ここで、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えが深められる発問が用意されなくてはなりません。子どもが道徳の時間が面白い、楽しいと感じるのは、『考える』からです。書いてあることを答えただけでは子どもは満足しません。子どもの欲求に応えるために、中心発問の吟味は最も重要です。
- 中心発問に時間をかけて、児童生徒の発言を引き出す授業が理想的です。しかし、中心発問での児童生徒の発言は、主題に関わったものでない発言も出て来ます。そういう発言も受容しながら、中心発問にもっていきまて、児童生徒が状況をよく把握できるように状況説明をしたり、発言を手がかりに「どういうこと?」「何でよかった?」と『さらに問う』ことによって、次第に主題について深く考えられるように授業展開をすることが大切です。

#### (3) 資料提示の工夫

- 兵庫版道徳教育副読本の読み物資料の中には、「読みごたえのある資料」があります。そのような資料を使用する場合、特に低学年においては、発達段階を考慮して、挿絵や紙芝居で児童の想像力を補うことは有効です。紙芝居で資料提示をする場合には、資料の本文をそのまま利用することもあります。教師が絵を用いながら、生の言葉で資料のストーリーを語る方が児童には分かりやすいでしょう。

一方で、紙芝居による資料提示では、資料が児童の手元にないために文章や言葉に立ち返ることができないデメリットもあります。副読本を開かせて、これを紙芝居にしたことを伝え、児童が文章を確認できるようにしておくことも考えられます。

紙芝居は、文中の挿し絵に新たな場面を加えることが多いですが、どの場面を加えるかは資料分析に基づいて吟味する必要があり、いたずらに多くの場面を加えることには配慮を要します。

資料提示は、映像、音声、文字の順に児童生徒が得る情報は少なくなっていく。その分、児童生徒の想像力が必要となります。

情報量	文字資料	<	音声資料	<	映像資料
想像力	文字資料	>	音声資料	>	映像資料

- 生活経験の少ない低学年の児童にとって想像力を補うために有効な映像も、高学年や中学校では映像にとらわれて、かえって多様な感じ方や考え方が出にくい場合があることにも留意することが必要です。活字や言葉から、自分の経験や体験に照らして、想像力豊かに場面を思い描き、主人公に自己を投影させて考えることは、重要なことです。いずれにしても、発達段階に応じた資料提示の工夫を図ることが必要です。

一方、「主として自然や崇高なもののかかわりに関すること」では、それにかかわる児童の体験が乏しく、直観できにくい場合があります。その場合は、映像を用いることが効果的です。

#### (4) 児童生徒の対話 (TeachよりもCatch)

中心発問では、多様な感じ方や考え方を出し合うだけでは十分な話し合いとは言えません。教師の発問等により、出された多様な考えをもとに、比べ合い、違いの意味を確認し合ったり、対立し、議論するなど、児童生徒の考えを深めていくことが大切です。

「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」とはよく知られた言葉ですが、さらに「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず」と続きます。道徳の時間に「話し合う」といいますが、まさに子どもの発言に耳を傾け、そうかと承認すれば、子どもは育つのです。子どもの発言を「いいねえ」「素敵だね」「なるほど」と受容して、さらに問いを続けていくと、子ども自身が自分でもこんなことを考えていたのかと思えるような言葉が引き出されます。この時ずっと学級の空気が一変します。これが道徳の授業のねらいに迫っている時ではないでしょうか。

道徳の時間においては、教えること (teach) よりも、子どもの発言を受容 (catch) し、共に考え、悩み、夢や感動を共有するという教師の姿勢が大切です。

#### (5) その他

##### ア 「兵庫型」体験教育などの体験活動を道徳の時間に生かす

体験活動は、多様な価値を含んでおり、子どもは体験活動をする中でたくさんの価値と出会っています。体験活動と道徳の時間を連携させるには、体験活動を行う時に、道徳の時間に扱う価値にふれさせることが必要であります。例えば、「郷土愛」の場合は、郷土に尽くした先人の思いを印象づけておく。「生命尊重」の場合は、生きている命にふれさせる工夫をするなどです。

##### イ 授業形態の工夫 ローテーション授業

「道徳の時間」は、学級担任が普段の児童生徒との関係を生かして行うことが原則であることは言うまでもありませんが、学級担任がある資料を用いて授業を行った場合、その資料を再び使うのは年度が替わり再び同じ学年を担当した時になります。

例えば、各学級担任が3クラスで活用する資料を決め、3つの資料を学級担任それぞれが分担して3クラスで授業するなど、ローテーション授業は、反省をすぐ次の授業に生かすことができる、一つの資料を用いて深く研究を進めることができる等の利点があり、道徳の時間の授業力向上が期待できます。「道徳の時間」における指導は、学級担任が行うことを原則としつつ、年間に何回かはこのような授業を行い、「この資料を使った道徳の授業は任せて」という自信をつけたいものです。

そして、その資料の数を増やしていくことで、「道徳の時間」における学級担任の授業力のレベルアップを図りたいものです。

## Ⅲ章 小・中連携、家庭・地域との連携

### 1 小・中学校の連携

【問】 貴校では、小・中学校が連携して道徳教育を推進するために、道徳の時間の相互参観、合同研修などを実施していますか。



平成25年度道徳教育推進状況調査より

県内では、8割以上の小・中学校が連携して道徳の時間の相互参観、合同研修などを実施しています。以下は推進地域における小・中連携の取組例です。

【実践事例（推進地域の取組）】 ○9年間を見通した道徳教育のあり方

#### (1) 地域の道徳性に関する課題調査

保護者及び教職員向けに実施した地域の道徳性に関するアンケートでは、「主として他の人とのかかわりに関すること」の選択率は、全体の3分の1以上を占める、大変高い数値でした。また「集団や社会とのかかわり」も高い数値でしたが、選択内容は「公平・正義」「役割と責任の自覚」「家族愛」であり、このことも「他の人とのかかわりに関すること」に関連が深いと捉えました。

アンケート例

【問】 下記の表の項目・内容を読んで、我が子にはまだ身につけていないので、今後、家庭教育の中で身につけさせたいと思われるものを3つ選んで「家庭」の欄に○印をつけてください。同様に、学校教育において、道徳の時間等で身につけてほしいと思われるものを3つ選んで「学校」の欄に○印をつけてください。

	低学年（1，2年生）		学校	家庭	
	項目	内容			
身に関する事 ①主として自分	①	自立節度	健康や安全に気をつけ、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。		
	②	勤勉努力	自分でやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。		
	③	勇気	よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行う。		
	④	正直・誠実 明朗	うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。		

以下略

#### (2) 小中連携のテーマ「他の人とのかかわりの中で豊かな心の育成を図る」

アンケートの結果、「主として他の人とのかかわりに関すること」に重点をおくことで、児童生徒の「豊かな心の育成」の研究を進めることとし、テーマを「他の人とのかかわりの中で豊かな心の育成を図る」と設定し、6回にわたり、講師を招聘して道徳の小・中合同研修会を行いました。

#### (3) 小中合同研修

- ① 4月15日 道徳教育の基礎基本
  - ・ 道徳教育を効果的に進めるために
  - ・ 読み物資料について
  - ・ 読み物資料の分析と基本構成
- ② 5月15日 中学校授業研究 「銀色のシャープペンシル」「元さんと二通の手紙」と研究協議



小中合同研究協議の様子

- ・ 資料の読み方について
  - ・ 道徳での起承転結について
- ③ 6月19日 小学校授業研究「オオムラサキのたん生」4年 研究協議
- ・ 中心発問について
  - ・ 終末の工夫について
- ④ 7月3日 小学校授業研究「おもちゃのシンフォニー」5年 研究協議
- ・ 授業中の子どもへのかかわり方について
  - ・ 板書のまとめ方について
- ⑤ 7月17日 中学校授業研究「足袋の季節」 研究協議
- ・ 授業の改善点について
  - ・ 中心発問までの授業の流れについて
- ⑥ 7月29日 資料を読んで中心発問設定、補助発問についてグループ別協議



グループ別協議の様子

#### (4) 小中合同研修で明らかとなった授業の改善点

##### (ア) 資料について

- ・ 考えるところがある資料を選ぶ。

##### (イ) 主題について

- ・ 指導者は、資料の主題について、「学習指導要領解説道徳編 第3章 道徳の内容」を熟読し、考えさせたい価値について理解する。

##### (ウ) 授業展開について

- ・ 主人公の中に自分が入り込んで考えさせる。主人公になりきる。
- ・ 児童生徒から出てきた言葉をやり取りして進める。
- ・ 発問は資料に書いてある文言を使いながら（発問）、考えさせる。
- ・ 主人公の設定は、その資料の中で自覚した（変化した）登場人物に設定する。
- ・ 児童生徒への質問は、生徒の近くにいき、その発言内容についてすべて認める姿勢で臨む。
- ・ キーワードとなる資料の中の言葉を大切に資料を読み取り、主人公の心の内面を考えさせる。

#### 【成果と課題（推進地域の取組）】

小・中学校の連携による推進地域の取組からは、以下のような成果と課題があげられました。

#### 成 果

##### 1 授業について

- ・ 子どもたちにつけたい力を保護者、教職員からアンケートし、重点とする視点を設定したことで、「道徳の時間」の目標や進め方などの共通理解が図れた。
- ・ 内容項目の発展性を理解することで、9年間を見通しためざす児童生徒像が明確になった。
- ・ 資料分析を行うことにより、道徳的価値を理解させる授業から、自覚させる授業になるよう指導者が意識できた。

##### 2 対話の促進と意欲の向上

- ・ 道徳の授業の相互参観や、合同研究の機会が増え、教職員の対話の機会が増えた。
- ・ 道徳の授業で、発言が活発となり、子どもどうしの対話の機会が増えた。
- ・ 指導者が、発言を認めたり、誉めたりしたことで、道徳の授業に意欲的に取り組む子どもが増えた。

#### 課題と改善のポイント

##### 1 小・中連携について

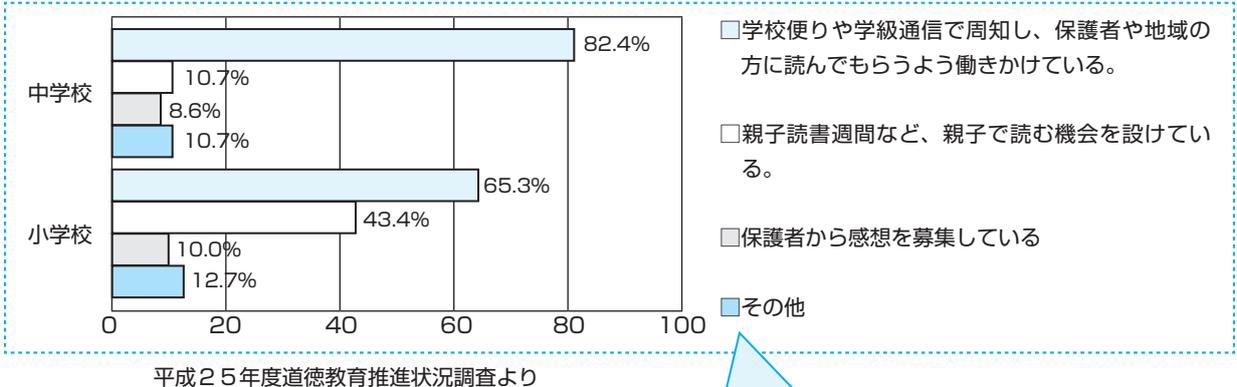
- ・ 相互参観や、合同研究により、小・中学校それぞれの取組は共通理解できたが、内容項目の発展性を踏まえた授業での連携は十分とは言えない。今後も道徳の授業の相互参観、合同研修を、計画的に実施する必要がある。
- ・ 児童生徒自身が道徳的価値の自覚を深め発展させていくためには、9年間を見通し、児童生徒の実態や発達段階に応じた年間計画になっているか見直しを行う必要がある。

##### 2 授業について

- ・ さらなる指導力向上のため、兵庫版道徳教育副読本を積極的に活用し、「道徳の時間」の指導の工夫改善が必要。

## 2 家庭・地域との連携

【問】 貴校では、保護者や地域の方への活用促進に向けた取組を行っていますか。



### その他の取組例

- ・ 個人懇談会で順番を待っている保護者が自由に閲覧できるようにしている。
- ・ オープンスクールで道徳の学習について掲示し、兵庫県版副読本を手にとってもらうコーナーを設けた。
- ・ 来校者が自由に取って読めるよう、廊下に常設展示している。
- ・ 道徳の参観日の後の懇談会で、テーマを決めて協議している。
- ・ 地区懇談会で保護者対象に読書会を行い、感想を募集した。
- ・ 感想を書いていただいたものを参観日に掲示。 など

兵庫版道徳教育副読本の保護者や地域の方への活用促進に向けた取組については、学校便りや学級通信で周知したり、親子読書を実施している学校が多く見られました。

### 【実践事例（推進地域の取組）】

#### （1）兵庫版道徳教育副読本の家庭での活用

##### ①道徳授業参観

- 1年 「からすのえんどう」
- 2年 「じいちゃんのふえ」
- 3年 「オオムラサキのたんじょう」
- 4年 「愛のひと」
- 5年 「私、お医者さんになる。」
- 6年 「未来をつくる仕事」



道徳の参観日の様子

##### ②授業副読本を家庭に持ち帰り読んでもらう

##### ③感想を寄せてもらう ※中学校では夏休みに保護者に読んでもらい、感想をいただいた。

#### 【保護者の感想】

副読本を読ませていただき、子どもたちに今、必要な内容がたくさんつまっていて、親である私自身にも本当にためになるなあと感じました。是非、この本を活用頂き子どもたちのこれからの成長にプラスされていくことを期待します。兵庫にゆかりのある方々のお話が本当にどれも素晴らしかったですし、同じ県民として誇りに思います。

- ④感想集作成、道徳だよりの発行
- ⑤保護者の感想を授業後に紹介するなど、授業に利用

兵庫県道徳副読本 中学校「心かがやく」 感想をお聞かせ下さい。  
(学年登校日にご提出下さい) 3年 8/19 1・2年 8/20

お名前 \_\_\_\_\_

資料名 夢を追い続けて

ご感想  
タイトルに惹かれて読んだ「夢を追い続けて」が、私には印象深く、何事も前向きな気持ちを持つ事が大切で、目の前に起る出来事も自分の考え次第で乗り越えられるという事、スライムも仕事においても、即座のレゾナンス準備が大切だということ。自分を勇気づける言葉があると、道徳に落ち込んだ時に、その言葉を思い浮かべると前向きな気持ちでがんばれると思いました。そして、短物を埋めないと得意なものに伸ばすだけで困難を打開できないという事、その通りだと思います。苦しい事、いやな事から自己背けずに克服して行く事が大切だということを変えて実感しました。私自身もどうかが、これから色々な経験を子供たちにも、心がけて欲しいと思います。

感想記入用紙

## (2) 道徳教育地域講演会の実施

- (ア) 対象  
中学校区の教職員、保護者、地域住民
- (イ) テーマ  
「学校・家庭・地域による道徳教育のあり方」
- (ウ) 保護者・地域の方・教職員からの感想



道徳教育地域講演会の様子

### 【保護者・地域の方の感想】

- ・道徳教育は、日常のどの場面にもあり、今日の講演でも自分も考え直す面もありましたので、また、家でも子ども達と話をしながら、その都度考えたいと思います。
- ・道徳とは改まったものではなく、日々、日常にあふれているものであると教えていただきました。情（こころ）を育てる時には、子どもを“待つ”事の大切さを学ばせていただきました。  
“意”“知”“情”の三つのところを親の私が心豊かに心がけたいと思います。
- ・子どもに道徳を伝えるには、なかなか簡単なことではないと感じました。皆で協力していくことが大事なのでしょうね。
- ・「道徳」と言葉で聞くと難しいように思うけど、日常生活を送る中で、人との関わりや自然とのふれあいから学ぶ感情のことだと思いました。教えるというより、自然に身につけていくものだと思います。子どもには、人を思いやる気持ちや、人に迷惑をかけないように心豊かに育ってほしいと思います。

### 【教職員の感想】

- ・とてもわかりやすいお話でした。頭の中が、すっきり整理できた気がします。保護者・地域の皆さんと一緒に考えることができた素敵な時間になりました。
- ・構えた難しい話ではなくて、具体例をあげて語りかけながら、わかりやすいお話でした。
- ・自分の学級の子ども達をイメージしながら話を聞きました。日頃の自分は、子ども達の心を育むことができているのかを改めて見つめることができました。話の内容以外にも、範読の仕方や話の仕方など、お手本にすべきことがたくさん見られたので、非常に良い勉強になりました。
- ・子どもに、「それでいいの?」「どこがあかんかったと思う?」というように、自分で考えさせるというところが印象に残りました。これからもっと道徳の授業を大切にして、子ども達が思いやりのある優しい子に育っていくように支援したいと思いました。
- ・読みもの資料を提示し、子どもたちに何を考えさせようとしているかをミニ道徳授業を通して教えていただきました。各々の立場の者の結びつきを強めるような講演会だと思いました。

### 【成果と課題（推進地域の取組）】

家庭・地域との連携による推進地域の取組からは、以下のような成果と課題があげられました。

#### 成 果

##### 1 連携の促進

- ・家庭・地域とのふれあい、体験活動の機会が増えた。
- ・授業公開により、地域の方が来校する機会が増えた。

##### 2 学校の道徳教育への理解

- ・副読本の感想を募集したことで、家庭での教育方針を振り返ったり、学校の道徳教育への理解を深めるきっかけとなった。
- ・道徳教育に対する理解と関心が高まり、学校の道徳教育を中心に据えた教育活動を、地域全体で支える体制が築かれてきた。

#### 課題と改善のポイント

##### 1 取組の周知

- ・家庭・地域とのさらなる連携を図り、学校の道徳教育への理解をさらに深めるため、学校だより、HP等で広く周知する必要がある。
- ・中学校には、複数の小学校から入学してくるため、家庭や地域への発信とともに、他校への発信を含め、道徳教育を推進していく必要がある。

##### 2 授業について

- ・学校の道徳教育への理解をさらに深めるため、全学級の「道徳の時間」の授業公開を実施する必要がある。
- ・家庭における兵庫版道徳教育副読本の積極的な活用を促進する。

## IV章 副読本を活用した「道德の時間」の実践事例

### 小学校低学年 事例1 「たんばやきのふるさと」(こころはばたく)

#### 1 めざす児童像

○：授業評価の観点を示しています。

- ◆ 道德の学習を通して、自分の思いを素直に表現し、自己肯定感を高め、地域を愛することができる児童。
- ◆ 一人一人がかけがえのない存在であることを意識し、より良く生きていくことができる児童。

#### 設定の理由

- ◆ 各家庭の家庭環境や地域環境に違いが大きく、利己主義的な考え方をする子が多い。語彙が少なく、自分の思いを丁寧に表現することが苦手なため、友だち同士でもぶつかりあうことも多い。自分たちが仲間として暮らしているこの地域に愛着をもつことで、お互いに助け合い、思いを語り合いながら、一小一中の9年間を過ごしてほしいと考えた。

#### 2 重点とする内容項目

- ◆ 約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切に使う。4-(1)
- ◆ 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。4-(5)

#### 3 授業例

兵庫版道德教育副読本小学校1・2年 こころはばたく 資料名「たんばやきのふるさと」  
主題名：郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。 4-(5)

#### 4 めざす児童像への位置付け(本時のねらい)

- ◆ 郷土の文化に親しみをもつ主人公の気持ちに寄り添うことによって、自分たちの住む地域をふり返り、愛着を持つとする道德的心情を育てる。

#### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 丹波焼きについて知っていることを発表しましょう。 ・丹波は、神戸と同じ兵庫県のお話だ。 ・丹波焼きを見たりさわったことがある。	1 資料をもとに丹波焼きが神戸と同じ兵庫県のお話であることを説明しておく。
2 陶器祭りでお父さんから丹波焼きのことを教えてもらったぼくは、どんなことを思ったのでしょうか。 ・そんなに有名なものが、ぼくの町の近くで作られていたんだな。 ・ずっと昔から伝えられてきたってすごいな。	2 日本でも有名で伝統的な焼き物が、自分たちの地域で作られていることを知った主人公の心を考えさせる。 3 登り窯を見て驚いている主人公の心に共感させる。
3 登り窯を見せてもらったぼくは、どんなことを思ったのでしょうか。 ・土のかたまりがここで丹波焼きになるんだな。 ・ぼくの恐竜もここで丹波焼になったんだね。 ・昔の人がこんな窯を発明したなんてすごいな。	4 お父さんから丹波焼きを家で毎日使っている話を聞いたことがきっかけとなり、主人公が丹波焼きを身近で親しみのあるものを感じていることをつかませる。
4 「えっ、ほんま？」と言った時、ぼくはどんなことを思ったのでしょうか。 ・こんなすごいものを毎日使っているなんて、何だかうれしいな。 ・丹波焼きは、ぼくたちの身近なものなんだ。	5 「お母さんに丹波焼きのことを自慢したい」という気持ちになった主人公の郷土を愛する心情の高まりをおさえる。
5 ぼくはお母さんに何と言って丹波焼きのじまんをしたいと思っています。 ・丹波焼きは、ぼくたちの宝物なんだ。	○友達と同じ思いであっても自分の言葉で話をさせ、お互いの考えを認め合う中で、変化する主人公の気持ちを捉えた発言をすることができたか。(観察)(会話) ○自分たちの住む地域をふり返り、愛着を持つとする発言があったか。(観察)(会話)

## 小学校低学年 事例2 「ゆめをもって－沖中重雄－」（こころはばたく）

### 1 めざす児童像

- ◆ 粘り強く努力することが夢に近づく第一歩であるということに気づき、夢をもち、夢に向かってがんばろうとする気持ちを持つ児童。
- ◆ 自分の思いや他者の考えを大切にし、伝え合い、人とつながる言葉の力を持つ児童。

#### 設定の理由

- ◆ 校区で共通した課題として、「希望・勇気をもつこと」「粘り強く取り組む心」があげられる。そこで9年間の育ちを見通して、低学年の段階から夢や目標を育み、粘り強く取り組もうとする心を積み上げていくことが大切である。
- ◆ 自分の夢を伝えたり、友達の夢を聞いたりして、互いの夢を理解しともに伸びようとする心を育てたい。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。1－(2)
- ◆ 先生や学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。4－(4)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本小学校1・2年こころはばたく 資料名「ゆめをもって－沖中重雄－」  
 主題名：ゆめにむかって 内容項目 1－(2)

### 4 めざす児童像への位置付け（本時のねらい）

- ◆ 地域のおばさんから沖中先生の話聞いて、道徳的に変化するほくを通して、夢を持ち、積極的に努力していこうとする道徳的実践意欲を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 あなたの『ゆめ』は何ですか。	1 夢という言葉聞いて、自分の好きなことを思い浮かべている主人公の心に共感させる。
2 おばさんから「ゆめ」と読むことを教えてもらったぼくは、どんなことを思ったのでしょうか。 ・ぼくの夢は、サッカー選手になることだ。 ・この字は誰が書いたのかな。	2 主人公が夢の実現からは遠い自分の姿を嘆き、くじけず努力しようとする意識が低くなっていることに気付かせる。
3 下をむいてしまったぼくは、どんなことを考えているのでしょうか。 ・サッカーは好きだけど、上手くないもんなあ。 ・ドリブルやシュートが下手だもんなあ。 ・好きなだけじゃあだめなのかなあ。	3 おばさんの話がきっかけとなり、前向きに努力しようという意識が主人公におこっていることを考えさせる。 意見が出にくい場合には、にこにこして「ゆめってすてきやね。」と言うおばさんの気持ちを考えさせることで、ぼくの前向きな気持ちに気付かせる。
4 「がんばることか。」と言いながら、「ぼく」はどんなことを考えているのでしょうか。 ・りっぱなお医者さんでも、うまくいかないことがあったんだなあ。 ・毎日ががんばることが大事なんだなあ。 ・がんばることが夢につながっているんだなあ。	4 前向きに努力しようという意識が高まり、主人公が「夢に向かってがんばって練習しよう」という実践意欲を強めていることに気付かせる。
5 空を見上げて、きれいな虹を見ながら、ぼくはどんなことを考えているのでしょうか。 ・さあ、今からいっぱい練習するぞ。 ・大好きなサッカーをがんばっていこう。 ・ぼくの夢は、まだ始まったばかりだぞ。 ・夢にむかってがんばるぞ。	○ おばさんの話がきっかけとなり、前向きに努力しようという気持ちに共感する発言があったか。（観察）（会話） ○ 授業後の感想に「ゆめって すてきやね。」というおばさんの気持ちを理解し、自分自身につなげた記述があったか。（作文）
6 「ゆめにチャレンジ」の範読を聞き、自分の夢や目標にむかってチャレンジしたいことを短冊に書く。	

# 小学校低学年 事例3 「長田の町にガオー！ -横山光輝-」（こころはばたく）

## 1 めざす児童像

- ◆ 相手の気持ちを思いやり、認め合う児童。
- ◆ 自分の思いや考えを伝えることができる児童。
- ◆ 自他の命を大切にし、自分の役割と責任を果たし、よりよく生きようとする児童。

### 設定の理由

- ◆ 本中学校区の児童は明るく素直な子どもが多く、問題行動も少ない。一方、道徳意識調査の結果からは、自分の思いや考えを表現することが苦手で、自主性・主体性にやや欠けるという課題がある。また、1の視点に関する項目や、思いやり、郷土愛に関する項目の自己評価の値が低くなっている。そこで、より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力したり、身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする意識を高める必要がある。

## 2 重点とする内容項目

- ◆ より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。1-(2)
- ◆ 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。2-(2)
- ◆ 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。4-(5)

## 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本小学校1・2年 こころはばたく 資料名「長田の町にガオー！ -横山光輝-」  
 主題名：わたしたちの町のために 内容項目 4-(5)

## 4 めざす児童像への位置付け（本時のねらい）

- ◆ おじさんの話を聞いて道徳的に変化する「たろう」を通して、郷土へ愛着を深め、親しみを持って生活しようとする道徳的実践意欲を育てる。

## 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
<p>1 ロボットを見上げながら、たろうはどんなことを考えているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すごく、でっかいな。</li> <li>・かっこいいな。</li> <li>・なんでこんなでっかいロボットがここにいるのかな。</li> </ul>	<p>1 ロボットを見上げた時の主人公の驚きや感動と不思議に思う心に共感させる。</p> <p>2 震災当時の写真と現在の長田の町の様子を視覚で対比させることにより、長田の人々の思いに共感させる。                      中心発問での「ほくも、鉄人になりたいな。」と「たろう」が思うことに至るには、</p> <p>① 長田の人たちが震災で甚大な被害を受けたが、町を復活させたこと</p> <p>② 「鉄人28号が悪いロボットと戦う姿が、長田の人たちがどんなことにもまげへんで」と戦ってきた姿と重なって考えられることに気付かせる。</p>
<p>2 「ほくも、鉄人になりたいな。」と言いながら、たろうくんはどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほくも、このまちを元気にしたいな。</li> <li>・みんなにこのまちをもっと好きになってもらうぞ。</li> </ul>	<p>3 おじさんの話がきっかけとなり、郷土愛の意識が主人公に起こっていることを捉えさせる。</p>
<p>3 「ガオー！」と空に手を突き上げた時、たろうはどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長田のまちをもっともっと元気にするぞ！</li> <li>・ほくにまかせておいて！</li> </ul>	<p>4 郷土愛の意識が高まり、主人公が「自分も長田のまちを元気にしよう」という実践意欲を強めていることを考えさせる。</p>
<p>4 今日の授業の感想を書く。</p>	<p>○ 子どもが資料の話の内容を理解し、長田の人々の思いを通して郷土愛について考えを巡らせた発言をすることができたか。（観察）（会話）</p> <p>○ 中心発問を通して、主人公の心を自分と重ね合わせて考え、感想に郷土への愛着を記述することができたか。（作文）</p>

## 小学校中学年 事例1「オサムシくん－手塚治虫－」（心きらめく）

### 1 めざす児童像

- ◆ 自ら学習に粘り強くこつこつと取り組む児童。
- ◆ 自己肯定感をもち、周りの人々と協力し支え合いながら伸びていこうとする児童。
- ◆ 自然や命を大切にし、人間性豊かな心情、判断力を身につけた児童。

#### 設定の理由

- ◆ 元気な児童が多く、男子はよく遊び、発表もよくする。女子は元気ながらも冷静に物事を判断することができる。しかし、学習活動や作業が複雑になるとすぐに投げ出してしまいう児童や何気ない会話の中で友だちに対してきつい言葉を遣う児童もいる。  
この2校の児童は同じ中学校に進学するので、自分や友だちを大切にする豊かな道徳性を身に付けた児童の育成に努めたい。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。1-(2)
- ◆ 友達と互いに理解し、助け合う。2-(3)
- ◆ 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。3-(2)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本小学校3・4年 心きらめく 資料名「オサムシくん－手塚治虫－」  
主題名：自然のすばらしさや不思議さ 3-(2)

### 4 めざす児童像への位置付け（本時のねらい）

- ◆ 手塚治虫さんの昆虫に対する優しさを知り、自然や動植物を大切にしようとする道徳的心情を養う。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
<p>1 こん虫図鑑を何度も何度も見ている手塚さんは、どんなことを思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな虫や不思議な虫がいっぱいいるな。</li> <li>・何時間見ても飽きないな。</li> <li>・今度は、この虫を探しにいこう。</li> </ul>	<p>1 大好きな虫が載っている「こん虫図鑑」を買ってもらい、わくわくしながら見ている主人公の心に共感させる。</p> <p>2 オサムシに出会い、自然の不思議さ、すばらしさを感じている主人公の心を考えさせる。</p>
<p>2 「オサムシ」に出会った手塚さんはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顔も似ているし、やることもほくとそっくりだ。</li> <li>・ほくに似ている虫がいるなんて、不思議だな。</li> <li>・ペンネームは「治虫」にしよう。</li> </ul>	<p>3 虫の絵を精緻に描きながら、自然に親しみ動植物を大切にしようという気持ちになっている主人公の心情の高まりに気付かせる。</p> <p>4 P40をもう一度範読し、大人になってからも手塚さんの自然愛の心情が貫かれていたことを考えさせる。</p>
<p>3 P39の虫の絵をかきながら、手塚さんはどんなことに気付いていったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一匹一匹特徴があっておもしろいな。</li> <li>・どの虫もほんとうにきれいな色だな。</li> <li>・こんなにいろいろな虫がいるなんて不思議だな。</li> </ul>	<p>○ 虫の絵を精緻に描きながら、自然に親しみ動植物を大切にしようという気持ちになっている主人公の心情の高まりを捉えた発言ができたか。（観察）（会話）</p> <p>○ 授業後の感想に自然や動植物を大切にしようとする気持ちが記述されていたか。（作文）</p>
<p>4 学習の感想を書く</p>	

## 小学校中学年 事例2「オオムラサキのたん生」(心きらめく)

### 1 めざす児童像

- ◆ 思いやりの心を持ち、自他を尊重し合い、共に高め合おうとする児童。
- ◆ 命の大切さを実感し、自己の生き方を見つめ、自分のよさに気付く児童。

#### 設定の理由

- ◆ 本校の児童は、お互いのことをよく知っており、相手のことを考えた行動ができるが、自分に自信がもてないといった傾向がある。そこで、以前より小学校で重点的に取り組んできた「生命の尊重」「自尊感情を高めること」に加えて9年間を見通し「他の人とのかかわり」にも焦点をあてながら、豊かな心の育成を図ることに力点を置き、めざす児童生徒像を設定した。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。2-(2)
- ◆ 友達と仲良くし、助け合う。2-(3)
- ◆ 生命の尊さを感じ取り、生命のあるものを大切にする。3-(1)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本小学校3・4年 心きらめく 資料名 「オオムラサキのたん生」  
 主題名：命のすばらしさ 内容項目 3-(1)

### 4 めざす児童像への位置付け(本時のねらい)

- ◆ さなぎに触れたときのたいき君の気持ちの変化を通して、生命の尊さを感じ取り生命のあるものを大切に育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 観察日記を書きながら、こうた君と顔を見合わせてにっこりしたたいき君は、どんなことを思っていたのでしょうか。	1 発問の前に、さなぎが激しくふるえる映像を見せたり、自分の体験をふり返らせたりすることで、たいき君の思いに共感させる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きくなるのが楽しみだね。</li> <li>・きれいなオオムラサキになって飛ぶ姿を早く見たいね。</li> </ul>	2 よう虫の成長を楽しみにしている主人公の心に共感させる。
2 「かれてるみたいで、見に行ってもな……。」と言った時、たいき君は、どんな気持ちだったのでしょうか。	3 主人公が観察日記を書かなくなったのは、さなぎに命の存在を感じていないからであったということに気付かせる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動いて葉っぱを食べないと、見てもおもしろくないな。</li> <li>・もうかれて死んでしまったのかもしれないしな。</li> <li>・毎日同じ様子を日記に書いてもしかたないよ。</li> </ul>	4 さなぎがはげしくふるえたことがきっかけとなり、さなぎの命を強く意識し、驚いている主人公の心に共感させる。
3 「放っておいてごめんね。」と小さな声で言ったときのたいき君は、どんなことを思ったのでしょうか。	なぜ、小さな声で言ったのかを問うことで、「さなぎを驚かせないように。」などの、さなぎを大事にしようとする気持ちに気付かせる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと生きているんだね。すごいな。</li> <li>・動かないからといって、見に行かなくてごめんね。</li> <li>・動かなくても、さなぎの中で大きくなっていたんだね。</li> <li>・勝手にかれているみたいだと思ってしまっごめんね。</li> </ul>	5 ブルッ、ブル、ブルッという感触を思い出し、生命の存在を実感している主人公の心情の高まりを考えさせる。
4 飛び立つオオムラサキを見ながら、たいき君はどんなことを考えていたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の存在を実感している主人公の心情を感じ取った発言があったか。(観察)(会話)</li> <li>○ 生命の尊さを感じ取り、生命のあるものを大切にしようとする発言があったか。(観察)(会話)</li> </ul>

## 小学校中学年 事例3「但馬に牛を－前田周助－」（心きらめく）

### 1 めざす児童像

- ◆ 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にできる児童。
- ◆ 地域の一員としてよりよい人間関係を築いていくための豊かな心を持ち、主体的に生きる児童。

#### 設定の理由

- ◆ 本校の児童・生徒は、明るく素直で、何事にも意欲的に活動している反面、一人一人を見ると自己肯定感が低く、自尊感情が十分に育っていない。そのため、日常生活の中で様々な不安をかかえており、それが他者への思いやりの欠如、人間関係のトラブルとなって表れることがある。例えば、自己決定の力が弱く、他の人の意見に左右されやすい。また、自らを律し、社会のルールを守ろうとする意識が低い。このような課題を解決するには、自分が地域の一員として育まれていることを自覚することが大切である。そして、学校・家庭・地域社会が児童にとっての心の居場所となり、さらに、よりよい人間関係を築いていくための豊かな心を育てていくことが必要である。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。2-(2)
- ◆ 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。4-(1)
- ◆ 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。4-(5)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本小学校3・4年 心きらめく 資料名 「但馬に牛を－前田周助－」  
 主題名：ふるさとのために 内容項目 4-(5)

### 4 めざす児童像への位置付け（本時のねらい）

- ◆ 峠に立って故郷の急な斜面の山と谷あいの村を見て、自分の故郷のために何かしたいと考える周助を通して、地域の人々や生活を大切に、郷土を愛する道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 「おい、次もまた来てくれよな。ぜっ対だぞ！」 と言われた時、周助はどんなことを考えたので でしょう。 ・うれしい。自分のしてきたことに間違いはな かった。 ・今まで家族には迷惑をかけてきたけれど、大 阪に出れば楽な暮らしができるぞ。	1 P 22～P 23 11 行目までは、周助の牛への 思いの強さについて教師が要点を説明する。 2 苦労が実り、自分の育てた子牛が高く評価 される声を聞いた時の主人公の心を考えさせ る。 貧しい自分の故郷を見て、故郷を救いたい という意識が起こった主人公に共感させるため には、ここで、主人公が「家族で大阪に引 越せば、楽な暮らしができる」と有頂天にな っていることを読み取らせる。
2 「大阪に行くわけにはいかないのだ。」とつ ぶやいた周助は、どんなことを考えていたので しょうか。 ・ふるさとを盛り上げるには牛の飼育しかない。 ・自分の家族の暮らしが楽になることだけを考 えてはいけけないんだ。 ・これからも良牛を育てて、日本一の故郷にし ていこう。	3 峠から見た故郷の風景がきっかけとなり、 故郷を愛する意識が主人公に起こっているこ とを考えさせる。 4 小代村の将来のために良い牛を増やそうと 行動している主人公の郷土を愛する心情の高 まりを考えさせる。
3 良い牛を求めて村から村へと歩きまわる周助 は、どんなことを考えたのでしょうか。 ・良い牛を育て後々まで伝えることで、ふるさ とを豊かにしたい。 ・みんなにも、良い牛を育てることが村を豊か にすることをわかってもらおう。 4 今日の学習を振り返り、まとめをする。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           ○ 主人公の大阪へ行きたいという心情と、故            郷を救いたいという心情を対比して考えるこ            とで、郷土を愛する思いを感想に記述できた            か。（作文）            ○ お互いに道徳的価値の自覚を深めていける            ような対話ができただか。（観察）（会話）         </div>

# 小学校高学年 事例1 「忘れない夏 - 嘉藤栄吉 -」 (心ときめく)

## 1 めざす児童像

- ◆ 希望や夢を持って、その実現に向かってねばり強く努力しようとする児童。
- ◆ 善悪の判断を的確に行い、正しいことは主体的に取り組む児童。
- ◆ 相手の立場に立って、思いやりの心を持って周りの人と接する児童。
- ◆ それぞれの集団の活動に積極的に参加し、その向上のために自らの役割を自覚し責任を果たす児童。

### 設定の理由

- ◆ 児童の実態として、人間関係や友だちに対する見方が固定化されつつある。また、友だちに対する劣等感や優越感を持っているため、互いに励まし合って共に伸びていこうとする気持ちが弱い。何事にも積極的にチャレンジし、身近にいる人に温かい心で接したり、親切にする心を育てたい。

## 2 重点とする内容項目

- ◆ 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。1-(2)
- ◆ 幼いや高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。2-(2)
- ◆ 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚して、協力して主体的に責任を果たす。4-(3)

## 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本小学校5・6年 心ときめく 資料名「忘れない夏 - 嘉藤栄吉 -」  
 主題名：くじけない心で 内容項目 1-(2)

## 4 めざす児童像への位置付け (本時のねらい)

- ◆ 自らの気づきと頭上に響いた部長の「頭を上げろ！ 胸を張れ！」の言葉によって、道徳的に変化する嘉藤さんの姿を通して、失敗にくじけず前を向いて努力しようとする道徳的実践意欲を育てる。

## 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 高田監督の言葉かけにも頭を上げることができなかった嘉藤さんは、どんな気持ちだったのでしょうか。 ・自分のミスで大変なことをしてしまった。 ・どうしたらいいんだ……。 ・先輩たちに申し訳ない。お詫びのしようがない。	1 責任の重大さにどうしたらいいのかわからない主人公の心を考えさせる。 2 主人公が、自分の失敗を直視する勇気をもてず、挫折感を克服できないでいることを考えさせる。中心場面で嘉藤さんの意欲の高まりに気付くためには、ここで自分の失敗を直視できず、立ち直れないでいる嘉藤さんの心情を十分考えさせる。
2 家に閉じこもって三日間、嘉藤さんはどんなことを考えたのでしょうか。 ・自分のエラーであの大勝負を終わらせてしまった。 ・自分に飛んでこなければこんな思いをしなくてもよかったのに。 ・もう少し1塁よりに飛んでいてくれれば私の守備範囲でなく、こんなに苦しまなかったのに。 ・もう少し2塁寄りに守っていれば、サヨナラヒットで終わり、こんなに苦しまなかったのに。	3 頭の上で響いた竹山部長の言葉がきっかけとなり、「くじけずに希望と勇気を持って取り組もう」という意欲が強まっていることを考えさせる。
3 グラウンドに向かって駆けだした時、嘉藤さんは心の中でどんなことを言っていたのでしょうか。 ・もう一度がんばろう。 ・閉じこもっても何も解決しない。 ・自分の所にボールが飛んできたのは、偶然ではない。自分を磨かなくては。 ・自分の弱さをはねのけて自信を持てるように努力しよう。 ・もう逃げないぞ。 4 感想を書く。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳的に変化する嘉藤さんの姿を通して、失敗にくじけず前を向いて努力しようとする思いを感想に記述できたか。(作文)</li> <li>○ 自分の考えと比べながら友だちの意見をしっかりと聞いていたか。(観察)</li> </ul> </div>

## 小学校高学年 事例2「逆境からのプレーボール -村山実-」(心ときめく)

### 1 めざす児童像

- ◆ それぞれの違いを認め合い、自分も周りの人も大切にできる児童。
- ◆ 豊かな体験活動を通して地域の良さに気付き、自分のできることを進んで行う児童。
- ◆ 社会のきまりや約束を守ろうとする児童。

#### 設定の理由

- ◆ 素直に物事に取り組み、知識欲が旺盛である一方、やや自立性に欠ける面があり、周りを意識しすぎたり、安易に同調したりする傾向が見られる。そのため、自分なりに正しく理解、判断し、自他を尊重しながら、よりよい生き方をしようとする態度を十分に育てたい。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 自分の特徴に気付き、良い所を積極的に伸ばし、悪い所は課題として改めようとする。1 - (6)
- ◆ 地域の行事や活動に積極的に関わり、伝統や文化を大切にする。4 - (7)
- ◆ きまりの意義を理解し、遵守しようとする。4 - (1)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本小学校5・6年 心ときめく 資料名「逆境からのプレーボール -村山実-」  
 主題名：自分のよさを伸ばそう 内容項目：1 - (6)

### 4 めざす児童像への位置付け (本時のねらい)

- ◆ 村山さんの話を父から聞いて道徳的に変化する一朗を通して、自分の特徴を知り、悪いところを改め、よいところを伸ばそうとする道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 顔を上げずに無言でマウンドの土をならしながら、一朗はどんなことを考えていたのでしょうか。	1 すべてをチームメイトのせいにしてしている主人公は、自分自身を見つめていないことに気付かせる。
・お前らがエラーしたからピンチを招いたんじゃないか。 ・エラーしたお前が言うなよ。	2 ふてくされている主人公は、自分自身を見つめていないことを再度考えさせる。
2 父さんに返事もせず、くつを脱いでいる途中で玄関に寝そべった一朗は、どんなことを考えていたのでしょうか。	3 下を向いていた顔を上に向けたという場面では、実際に動作化することで、逆境時の村山さんについての父の話がきっかけとなり、自分を見つめて悪い所を改めるという意識が主人公に起こっていることに気付かせる。
・すごくくやしい。 ・克治さえ、エラーしなければ勝てたのに。 ・監督もみんなも自分のことをわかってくれない。	4 「失敗にくさらず前へ進んでいった村山さんはえらいな。」という父の言葉を聞き、前向きに自分の課題を改めようという気持ちになっている主人公の心情の高まりを考えさせる。
3 今日の自分自身を思い返して、下を向いた時、一朗はどんなことを思っていたのでしょうか。	○ 動作化を取り入れたことにより、主人公の状況把握や心情理解ができたか。(作文) ○ 一朗の前向きな気持ちを捉えた発言ができたか。(観察)(会話) ○ 主人公のように前向きに自分の課題を改めようという思いが感想に記述されているか。(作文)
・自分は人のせいばかりにしていた。 ・一つのエラーで動揺するなんて、自分はまだまだだな。 ・これまで、一人で野球をやっている気持ちになっていたな。	
4 顔を上げて父さんを見ながら、一朗はどんなことを考えたのでしょうか。	
・人のせいにして、くさっていてもしかたないんだ。 ・人のせいにしてふてくされていたことを、みんなに謝ろう。 ・こんなことを考えているお父さんもすごいな。	
5 学習を振り返り、感想を書く。	

## 小学校高学年 事例3「わが道を歩む－池田草庵－」（心ときめく）

### 1 めざす児童像

- ◆ 自ら学び、考え、表現する、たくましい力ある子。
- ◆ 思いやり、助け合う、豊かな心ある子。
- ◆ 生きる「いのち」を尊ぶ子。

#### 設定の理由

- ◆ 本校の児童は、礼儀正しく、言うことをよく聞く素直な児童が多い。しかし、自らの考えによって行動しようとする意思が弱く、失敗の責任を負うことを恐れる傾向がある。そこで、自分の行動に責任を持ち、自由で自律的に行動する道徳的心情と実践力、他人を認め、思いやる道徳的心情とを身に付けさせたいと考えた。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。2-(2)
- ◆ 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。1-(3)
- ◆ 自分の特徴を知って、悪い所を改め、よい所を積極的に伸ばす。1-(6)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本小学校5・6年 心ときめく 資料名 「わが道を歩む－池田草庵－」  
 主題名：自律的な生き方 内容項目 1-(3)

### 4 めざす児童像への位置付け（本時のねらい）

- ◆ 儒学を深く学びたいという意思を貫き、恩を捨てて寺を出たが、恩人に人として認められるようになることを自らに誓って努力する主人公の生き方を通して、自律的で責任のある行動をする道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 ろうそくのほのおを見つめる日が続いた時、草庵はどんなことを考えていたのでしょうか。 ・ 京都に行き、相馬九方先生の下で儒学を学び続けたい。 ・ 儒学の道に入れば、和尚様を裏切ることになる。	1 頼りなくゆれるろうそくの光を見つめる主人公の心のゆれ（迷い）を考えさせる。 2 迷いを断ち切り、寺を出る決断をした主人公の心を考えさせる。
2 満福寺を去る時、何かを振り切るかのように小走りに駆け出した草庵は、どんな気持ちだったのでしょうか。 ・ 必ずお許しをいただきにまいります。 ・ もう迷わない。儒学の道に入ることを決断したのだ。	3 「人としての責任ある生き方」を問われていると主人公が自覚していることに気付かせる。 4 「人としての責任ある生き方」を認められた安堵感の中で、自律的な生き方について考える主人公の心情の高まりを考えさせる。
3 「和尚様が会ってくださらないのは、仕方ないことである」とつぶやきながら、草庵はどんなことを考えていたのでしょうか。 ・ だまって出た私に会われないのは仕方がないことだ。 ・ まだまだ私は未熟だ。	○ 中心発問でより児童の思いを引き出すために、和尚に許しを請いに行った草庵の気持ちを十分考えた発言ができたか。（観察）(会話) ○ 草庵の言動に視点をあて、草庵の生き方を考える中で、「自律」について深く考える内容が感想に記述できたか。（作文）
4 「何も言わんでよい・・・。」とおだやかな笑顔で和尚に声をかけられた草庵は、心の中で何と言ったでしょう。 ・ 許していただき有難うございます。 ・ 私の生き方を和尚様に認めていただくことができた。	
5 草庵の実践した「自律」について考え、感想をプリントに書く。	

# 小学校高学年 事例4「未来をつくる仕事 -三島徳七-」(心ときめく)

## 1 めざす児童像

- ◆ 先人の生き方に学び、よいもの、よいことに心を動かす児童。
- ◆ 道徳的な判断力を身につけた児童。
- ◆ 思いやりの心を持ち、よいと思ったことを進んで実践する児童。

### 設定の理由

- ◆ 児童は、学校生活において、相手によって接し方を変えたり、友だちを平気で傷つけたりするなど、考えや性格の違いを大切にせず、他人に流される姿が散見される。このことから、児童は高い目標を持って自分を高めたり、相手の立場に立って考えたりすることに課題があるといえる。課題解決のためには、自立心や思いやりの心を持ち、公正公平に重点を置いた指導を実施し、道徳的実践力を養うことが必要である。

## 2 重点とする内容項目

- ◆ より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。1-(2)
- ◆ だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。2-(2)
- ◆ だれに対しても差別することや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。4-(2)

## 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本小学校5」・6年「心ときめく」資料名 「未来をつくる仕事 -三島徳七-」  
 主題名：くじけない心 内容項目1-(2)

## 4 めざす児童像への位置付け(本時のねらい)

- ◆ 新しい磁石の開発という未知の世界へ挑戦していく主人公の姿を通して、くじけずに希望と勇気をもって取り組み、その理想に向かって着実に前進していこうとする道徳的心情を育てる。

## 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
<p>1 未知への挑戦のような仕事を始めた三島さんは、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい磁石を作れば、きっとみんなの生活に役立つぞ。</li> <li>・ぜったいに磁石を作ってやるぞ。</li> </ul>	<p>1 P22の1行目まではプロローグとして扱う。</p> <p>2 自分の「ひらめき」を信じ、未知への挑戦を始めた主人公の真理を追究する気持ちを考えさせる。</p>
<p>2 なぜ、三島さんは失敗してもくじけることなく研究を続けたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず結果が出ると信じていたから。</li> <li>・ニッケル鋼とアルミニウムの合金には磁石の性質をもつことを確信していたから。</li> <li>・あきらめると新しい未来は生まれないと考えていたから。</li> </ul>	<p>3 主人公が「真理を追い求めれば、必ず結果が出る」という信念を持ち続け、実験を続けようとしていることに気付かせる。</p> <p>中心発問で主人公の心情に迫るためには、ここで研究室の仲間たちをはげます主人公の目の「何かを信じる力強さ」の何かを問うことで、三島さんの思いを支えるものについて考えさせる。</p>
<p>3 大声を上げて研究室の仲間を見回したとき、三島さんはどんなことを考えたでしょう。</p>	<p>4 「真理を追究し、新しい未来を創り出そう」という心情が主人公の探求を支えたことに気付かせる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これで新しい未来が生まれる。</li> <li>・きっとみんなの生活がよくなるぞ。</li> <li>・自分の考えは正しかった。</li> </ul> <p>4 今日の授業の感想を書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学問に対する真摯な姿勢や努力など三島さんの人物像を捉えた発言ができたか。(観察)(会話)</li> <li>○ 授業後の感想に、何事にもくじけず希望と勇気を持って取り組むことの大切さについて自分の考えを記述できたか。(作文)</li> </ul>

## 中学校 事例1 「運命の木－姫路城の大柱－」（心かがやく）

### 1 めざす生徒像

- ◆ 地域を愛し、地域から愛される生徒。
- ◆ 優れた伝統をしっかりと継承していくことの大切さを理解し、新しい文化を創造できる生徒。
- ◆ 一人ひとりがかげがえのない存在であることを意識し、より良く生きていくことができる生徒。

#### 設定の理由

- ◆ 自分に自信が持てなく、人に冷たく接したり、自分中心でなければ不安になってしまうことがあり、自分たちが仲間として暮らしているこの地域に愛着をもつことで、お互いに助け合い、思いを語り合いながら、一小一中の9年間を過ごしてほしいと考えた。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。4-(9)
- ◆ 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。4-(10)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本中学校 心かがやく 資料名 「運命の木－姫路城の大柱－」  
 主題名：伝統文化を守る 4-(9)

### 4 めざす生徒像への位置付け（本時のねらい）

- ◆ 姫路城の再建に関わる人たちと力を合わせ、成功させた加藤の姿を通して、国に伝わる優れた伝統文化を大切に継承しようとする道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 そびえ立つ柱を見上げながら、加藤はどんなことを考えていたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大工事になるが、条件に合った檜を探すことは難しいな。</li> <li>・日本は森林国なのだから、檜は絶対に見つかるはずだ。</li> </ul>	1 巨木の内部が著しく腐食している様子を見ながら思案している主人公の心を考えさせる。
2 瀬加村の人たちは、どんな思いでご神木を譲ることを決断したのだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路城を立派に再建したい。</li> <li>・姫路城は地域の誇りだ。</li> </ul>	2 牛尾が姫路城に励まされたことを思い出していることや、瀬加村の人たちが、伝統ある姫路城を地域の誇り（県の宝）に思っていることに気付かせる。
3 木曾の人たちは、どんな思いで、だれも足を踏み入れたことのないような奥深い斜面に足を運んだのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・我々の手で国宝姫路城の大柱を見つけるんだ。</li> <li>・日本の誇り姫路城のために、木曾の檜を役立てたい。</li> </ul>	3 遠く離れた木曾地方でも、姫路城が日本の宝であると考えている人がたくさんいることに気付かせる。
4 しばらく電報を握りしめたまま、動けなかった加藤は、どんな気持ちだったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・もう無理だ。</li> <li>・万事休すだ。</li> </ul>	4 二度目の期待を込めた巨木が折れ、再建の希望を失っている主人公の心に共感する。
5 いぶかる加藤の前でにやりと笑う和田は、どんなことを考えていたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あきらめるなよ。これで姫路城は再建できるぞ。</li> <li>・二つの木のように、自分たちも力を合わせよう。</li> </ul>	5 職人の心意気で大柱を立ち上げる方法を見つけた和田が、加藤に希望を与えようとしていることに気付かせる。
6 加藤の祈りに込められた思いは、何だったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうか無事に立ってくれ。</li> <li>・日本の宝を守ろうという人々の願いが届きますように！</li> <li>・沿道をうめた人たちの願いが届きますように！</li> </ul>	6 姫路城を誇りに思い、優れた伝統を守ろうとした人たちみんなの心情の高まりが、大柱に込められていることに気付かせる。

- 姫路城の建設に関わる人たちと力を合わせ、成功させた加藤たちの気持ちを捉えた発言があったか。（観察）（会話）
- 授業後の感想に国に伝わる優れた伝統文化を大切にしようとする記述があったか。（作文）

## 中学校 事例2「事典をつくった人 -下中弥三郎-」(心かがやく)

### 1 めざす生徒像

- ◆ 自分自身の学びへの姿勢を問い直す生徒。
- ◆ 夢を持ち、夢に向かってがんばろうとする気持ちを持つ生徒。
- ◆ 「学ぶ喜び=生きる喜び」を感じとり、自己実現への展望を持つ生徒。

#### 設定の理由

- ◆ 校区で共通した課題として、「希望・勇気を持つこと」「粘り強く取り組む心」があげられる。入学時から、定期考査の結果が出るたびに学校生活への意欲まで失われていくおそれがある彼らに、自己実現のためには結果だけにとらわれず、学び続けることそのものに意義があることを理解させたい。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。1-(4)
- ◆ 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。1-(5)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本中学校 心かがやく 資料名「事典をつくった人 -下中弥三郎-」  
 主題名：真理を求めて 内容項目 1-(4)

### 4 めざす生徒像への位置付け(本時のねらい)

- ◆ 知への探求心を持ち続け、わからないことを知ろうとする姿勢を持ち続けた弥三郎を通して、わからないことを謙虚に受け止めて探求し続け、真理や真実を求めようとする道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 どれほど貧しくても、空腹であっても、なぜ弥三郎は学校を休まなかったのでしょうか。 ・新しい知識を学びたい。 ・腹はへっても、頭の中は新しい知識で満たしたい。	1 主人公が、苦しい状況であっても、「新しい知識に出会う喜び」を持ち続けていることに気付かせる。
2 中井先生が譲ってくれた百科全書を、弥三郎はどんな気持ちで毎日、毎日読んでいたのでしょうか。 ・学校へ行くことができなくても、新しい知識を学びたい。 ・学校に行っている人たちに負けたくはない。 ・新しい知識を得られることがうれしい。	2 主人公が、行きたくとも学校に行けない悔しさを乗り越え、「知識を広げていく喜び」を持ち続けていることを考えさせる。
3 弥三郎はどんな思いで、日頃から原稿を書きためていったのでしょうか。 ・いつか、世界のあらゆる事柄を知ることのできるような書物を作ろう。 ・中井先生から貰った百科全書のような本を作れば、貧しく学校に行けない人たちでも知識を得ることができる。	3 幼い頃の自分と同じような境遇の人たちにも知識を得る喜びを与えようとしている主人公の心を考えさせる。
4 ずしりと重い大百科事典を手にし、大きくうなずく弥三郎はどんな気持ちだったのでしょうか。 ・知ることの大切さが詰まった本ができあがった。 ・きっと知ることを求めている多くの人たちの役に立つ。 ・子どもの頃に百科全書を手にした時と同じ喜びを、多くの人たちに与えることができる。	4 わからないことを探求し続ける気持ちを多くの人たちに広げようとする主人公の心情の高まりを考えさせる。
5 感想を書く。	○ 勉強の意義を考えたり、弥三郎が今の時代をどう見るかを考えることで、自己の学びを見つめ、弥三郎の学び続ける生き方を中心に考えた発言ができたか。(観察)(会話) ○ 感想に、学ぶことの喜びを感じ、「学び続けること」を実現しようという思いが記述できたか。(作文)

## 中学校 事例3「手塚作品を貫くもの」(心かがやく)

### 1 めざす生徒像

- ◆ 自分で最後までやり切る生徒。
- ◆ 自他の良さを尊重できる生徒。
- ◆ 豊かな感性あふれる生徒。

#### 設定の理由

- ◆ 本校の生徒は、おとなしく落ち着いて学校生活を送っているが、授業や行事の中で、「自己決定力が弱い」「最後までやりきる力が弱い」「友だちに対してのきつい言葉遣い」等の課題が見られるため、生徒には、自ら責任を持ち、友だちを思いやるなどの道徳的心情を身に付けさせたい。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任を持つ。1-(3)
- ◆ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心を持つ。2-(2)
- ◆ 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。3-(1)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本中学校 心かがやく 資料名「手塚作品を貫くもの」  
 主題名：生命の尊厳 3-(1)

### 4 めざす生徒像への位置付け(本時のねらい)

- ◆ 死と直面した戦争体験から人間の生と死への思いを深め、道徳的に変化し、自身の作品のテーマとして生命にこだわり続けた手塚さんを通して、生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 監視塔の上で頭を抱えてうずくまった手塚さんは、どんなことを思ったでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・だめだ。もう死ぬのだ!</li> <li>・怖い!助けてくれ!</li> <li>・死ぬのはいやだ。もっと生きたい!</li> </ul>	1 死と隣り合わせの場に遭遇し、極度の恐怖を感じている主人公の心を考えさせる。
2 B29の編隊が去った後、ぼう然と堤に立ち尽くす手塚さんは、どんなことを思ったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ああ、おれは生きている…。</li> <li>・あの焼夷弾がもう少しずれていたら確実に死んでいた。</li> <li>・ああ、恐ろしい…。</li> <li>・生死の境目など運命としか言いようがない。</li> </ul>	2 生と死の境目にいたことを痛感した主人公が、生きていることのありがたさに深く思いを寄せていることに気付かせる。 3 電灯の灯りに人々が生きていることを実感した主人公が、人間の生命のかけがえのなさに心を揺り動かされていることに気付かせる。
3 こうこうと明るく照らされる大阪の街の光景に涙した手塚さんは、どんな気持ちだったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ああ、みんな生きているんだ…。</li> <li>・あたたかい灯りの下で人々が生きているんだ。</li> <li>・生きていて本当によかった。</li> </ul>	4 戦争を体験し、生きていることのありがたさを実感した主人公が、作品を通して命の尊さを伝えることをライフワークにしようという心情を高めていることにつなげる。
4 手塚さんはどんな思いで「アドルフに告ぐ」を描いたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命を奪ってしまう戦争の恐ろしさを世の中の人々が忘れかけている。このままではいけない。</li> <li>・作品を通して生命の尊さを伝えていきたい。</li> <li>・生命の尊さを伝えるのは戦争で死と直面した私のつとめだ。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「明るく照らされた大阪の街」を目にした手塚さんの心情を考えることで、命の尊さを理解した発言ができたか。(観察)(会話)</li> <li>○ 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようという思いを持った発言ができたか。(観察)(会話)</li> </ul> </div>

## 中学校 事例4 「留さんのボギー - 宮本留吉 -」 (心かがやく)

### 1 めざす生徒像

- ◆ 理想の実現をめざして、粘り強く努力する生徒。
- ◆ 自主的に考え、行動し、その結果に責任を持てる生徒。
- ◆ 互いに認め合い、ともに伸びていこうとする生徒。
- ◆ 生命の大切さを理解し、あたたかみのある人間関係を築くことができる生徒。

#### 設定の理由

- ◆ 生徒の実態として、周囲への依存心が強く、自分で考え、判断し、行動することが苦手である。また、友だちと、互いのよい点を認め合い、共に伸びていこうとする気持ちが弱い。自己の人生を切り拓いていく力、他の人々に対する思いやりの心を育てたい。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。1-(4)
- ◆ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心を持つ。2-(2)
- ◆ 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。4-(8)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本中学校 心かがやく 資料名「留さんのボギー - 宮本留吉 -」

主題名：真実を求めて 内容項目 1-(4)

### 4 めざす生徒像への位置付け (本時のねらい)

- ◆ 岡橋さんの言葉に動揺することなく、自分への正直さを貫く留さんの姿を通して、真実を求め、理想の実現を目指して、自己の人生を切り拓こうとする道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
<p>1 「ついてないな。」と舌打ちした留さんはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あっ、大事なところで一打増えてしまった。</li> <li>・ これでこのホールは、パーも難しくなったなあ。</li> <li>・ こんな大事な場面でどうしてこんな目にあうのだろう。</li> </ul>	<p>1 場面をストーリーの時系列でつかませる。</p> <p>2 場面状況やゴルフの用語を説明する。</p> <p>3 大事な場面で不運な状況に見舞われて嘆いている主人公の心を考えさせる。</p>
<p>2 「いや、ボギーや。六打だ。…」と岡橋さんに告げた時、留さんはどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「そうや、パーや。」と言いたいところだが、ボギーなのだ。</li> <li>・ 誰も見ていないとはいえ、ルールはルールだ。</li> <li>・ おれはフェアに戦うから、正直に言うぞ。</li> </ul>	<p>4 岡橋さんの「留さん、パーやな」という言葉に大きく動揺することなく、自分への正直さを貫く主人公の生き方を考えさせる。</p> <p>5 うそや偽りのない人間らしい誠実な生き方をしようとする主人公の心情を考えさせる。「誇りを持つ」という意見が出てきた場合には、何に「誇り」を持つのかを問い直し、さらに深く考えさせる。</p>
<p>3 セレモニーの舞台に向かいながら、留さんはどんなことを思っていたのでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13番ホールで正直に申告して本当によかった。</li> <li>・ 胸を張れるプレーができてよかった。</li> <li>・ おれはプロゴルファーである前に人間なのだ。</li> </ul> <p>4 感じたことを道徳ノートに書く。</p>	<p>○ 留さんの姿を通して、真実を求め、理想の実現を目指して、自己の人生を切り拓こうとする思いを感想に記述できたか。(作文)</p> <p>○ 生徒が自分の思いを発言し、自分の考えと比べながら友だちの意見をしっかり聞けていたか。(観察)</p>

## 中学校 事例5 「洋子の播州歌舞伎 – 伝統の若き後継者 –」（心かがやく）

### 1 めざす生徒像

- ◆ 他の人とのかかわり、集団や社会とのかかわりを考えることを通して、互いに尊重し合える生徒。
- ◆ 郷土の伝統や文化についての理解を深め、我が国や郷土を愛する生徒。

#### 設定の理由

- ◆ 本校は、素直で、何事に対しても前向きに取り組み、相手のことを考えて行動できる生徒が多い。一方、関係が馴れ合いになったり、互いに固定化した見方をしたりする傾向もある。そこで、お互いに相手を尊重し合いながら、自己を伸びやかに表現し、高め合える関係を築いていく必要がある。また、地域行事に参加する生徒も多く、地域の伝統行事、文化財への関心・理解をより一層深め、郷土を愛し、さらに広い視野から優れた伝統の継承に努めていく必要があることから、めざす生徒像を上記のように設定した。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。2-(2)
- ◆ 日本人としての自覚を持って国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。4-(9)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本中学校 心かがやく 資料名 「洋子の播州歌舞伎 – 伝統の若き後継者 –」  
 主題名：伝統を受け継ぐ 内容項目 4-(9)

### 4 めざす生徒像への位置付け（本時のねらい）

- ◆ 観客の鳴り止まない拍手を聞き、道徳的に変化した洋子の気持ちを考えることで、優れた伝統を継承しようとする道徳的実践意欲を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 洋子はどのような気持ちから、自転車のペダルを強く踏んだのでしょうか。 ・部活のみんなには悪いけど、今は歌舞伎に行こう。 ・部活と歌舞伎の両立で悩むのは、もうこれきりにしたい。	1 部活と歌舞伎の両立に悩む主人公の心に共感させる。 2 由香里が「伝統をつなぐ」ということを考えていたことを知り、主人公に「伝統を継承する」という意識が起こっていることに気付かせる。
2 更衣室に入っていく由香里の背中を見つめながら洋子はどんなことを考えたのだろう。 ・由香里先輩は、伝統をつなぐことを考えていたのか。 ・私は、伝統なんてことを考えたことなかったな。 ・由香里先輩も続けることに迷ったことがあったんだ。	3 由香里の伝統を受け継ぐ思いと綾子の言葉がきっかけとなり、迷いがふっきれたことに気付かせる。 4 たくさんの観客からの拍手を受け、主人公が「伝統を受け継ぐ担い手になろう。」という実践意欲を強めていることに気付かせる。
3 師匠の声で我に返った洋子は、どんなことを考えたのでしょうか。 ・私、やっぱり歌舞伎が好きなんだ。 ・こうやって歌舞伎を続けることに大きな意味があるんだ。 ・もう迷わない。	中心発問については、洋子が歌舞伎を終え、拍手を受ける場面で考えさせる。そこで「伝統をつなぐ」という価値に迫れない場合は、補助発問をする。 〈補助発問〉 ①拍手をした観客はどのようなことを思っただろう。 ②洋子が気づいた「伝統をつなぐ」の意味とはどんなことだろう。 ③「伝統をつなぐ」と、どういう気持ちになるのだろう。
4 洋子はどんな気持ちで、「由香里さんが『伝統をつなぐ』と言った意味が本当にわかった。」と言ったのでしょうか。 ・伝統をつなぐのは私たちなんだ。 ・こうやって今まで伝統をつないできたんだ。 ・私も由香里先輩に続こう。	○ 主人公が歌舞伎を終え、拍手を受ける場面を通して、「伝統をつなぐ」という価値に迫った発言があったか。（観察）(会話) ○ 優れた伝統を継承しようとする思いが感想に記述されていたか。（作文）
5 今日の授業で考えたこと、感じたことを書く。	

## 中学校 事例6 「地図をもたない旅人－湯川秀樹－」（心かがやく）

### 1 めざす生徒像

- ◆ 自分を支えている人々の存在に気付き、自分や周りの人を大切にできる生徒。
- ◆ よりよい生き方を選択できる生徒。
- ◆ 秩序やきまりを守ることの意義を理解し、社会の秩序と規律を高められる生徒。

#### 設定の理由

- ◆ 明るく順応性があり、素直に行動できるが、自尊感情が低い生徒が多い。自分に自信がもてないため、周りの雰囲気流されたり、安易な方を選択したりする傾向がある。そのため、自己の良さを知り、よりよい自分に成長しようとする向上心、自分の個性を更に伸ばしていこうとする意欲を育てたい。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。1－(4)
- ◆ 家族や社会に尽くした先人、高齢者等への尊敬と感謝の気持ちを深める。4－(8)
- ◆ 社会の中での人間としての生き方について自覚を深め、きまりを遵守しようとする。4－(1)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本中学校 心かがやく 資料名「地図をもたない旅人－湯川秀樹－」  
 主題名：真理を求めて 内容項目：1－(4)

### 4 めざす生徒像への位置付け（本時のねらい）

- ◆ 理論物理学研究の壁にぶつかり苦悩しながら、わからないことをわかろうと探求を続けた湯川秀樹の生き方を通して、真理を愛し、わからないことを謙虚に受け止めて探求しようとする道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 「量子論」の本の最後の記述が、湯川の心を大きく揺さぶったのは、なぜでしょう。 ・物理学の世界には、わからないことがいっぱいあることに気づき、自分が解いてやろうと思ったから。 ・課題が難解であるほど「やってやろう」と思ったから。	1 主人公の功績やノーベル賞について簡潔に説明する。 2 未知のことを解決することに心を揺さぶられる姿から、主人公には「わからないことをわかろう」という意識が強くあることに気付かせる。
2 湯川はどんな気持ちで日記帳に「四面楚歌、奮起せよ。」と記したのでしょうか。 ・必ず答えは見つかるはずだ。 ・ここであきらめるわけにはいかない。	3 必死で研究を続けるが壁にぶつかり、もがき苦しむ主人公の心に共感させる。 4 国際的に研究が評価されないことを悲観せず、「わからないことをわかろう」という意識を一層強めている主人公の心情の高まりを考えさせる。
3 「まだまだ、研究はこれからだ。」とつぶやきながら、湯川はどんなことを考えていたのでしょうか。 ・人間には、わからないことがまだまだいっぱいあるのだ。 ・わからないことがあるのは、わくわくするな。 ・わからないことを探求して解決してやる。	5 主人公の生き方から、「真理を追い求めることは、わからない苦悩の連続であり、わからないことを謙虚に受け止めて探求し続けること」が大切であることをつかませる。
4 「未知の世界を探究する人々は、地図をもたない旅人である」という言葉で、湯川は私たちにどんなことを語りかけているのでしょうか。 ・真理を追求することにゴールはないのだよ。 ・わからないことを悩み続けることが大切だ。 ・「なぜ」と問い続けることが楽しいことなのだ。	○ 湯川氏の前向きな気持ちを捉え、真理を愛し、わからないことを謙虚に受け止めて探求しようという思いを持つことができたか。 (作文) ○ 主人公の理想を追う姿に共感しながら、現在の自分自身を振り返った発言ができたか。 (観察)(会話)

## 中学校 事例7「伝統をつむぐ－赤穂緞通織り－」（心かがやく）

### 1 めざす生徒像

- ◆ 生命を大切にし、思いやりの心を持った生徒。
- ◆ 自分の役割を自覚し、規律ある集団生活を営む生徒。
- ◆ 郷土を愛し、伝統や文化を大切にする生徒。

#### 設定の理由

- ◆ 「思いやり」については、自尊感情が十分に育っているとは言えず、日常生活の中で様々な不安や不満を抱え、人間関係のトラブルや他者への思いやりの欠如した言動となって表れるという課題がある。「自律・規範意識」については、自己決定の力が弱く、自らを律し、社会のルールを守ろうとする意識が薄いという課題がある。「郷土愛・伝統と文化」については、地域の人々とのふれあいや地域の行事へ参加することが少なく、地域の文化・歴史・産業等を大切にする意識が薄いという課題がある。このような課題を解決するには、自分が地域の一員として生まれていることを自覚し、地域の良さを知るとともに、温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心を持つことが大切である。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心を持つ。2-(2)
- ◆ 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。1-(3)
- ◆ 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。4-(9)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本中学校 心かがやく 資料名「伝統をつむぐ－赤穂緞通織り－」  
 主題名：伝統を受け継ぐ 内容項目4-(9)

### 4 めざす生徒像への位置付け（本時のねらい）

- ◆ 赤穂緞通の継承に取り組む井関さんの姿を通して、自分たちの暮らす地域の良さを知り、優れた伝統文化を大切にしようとする道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 「これが赤穂の緞通……。」と思わず息をのんだ井関さんはどんなことを思ったのでしょうか。 ・なんて鮮やかで美しい模様なんだ。 ・こんな美しいものを私も織ってみたい。	1 井関さんが製作した実物の赤穂緞通を展示するとともに、「織る」「摘む」という作業の様子をビデオで見せたり、作業で用いるハサミを見せたりすることにより、赤穂緞通についての興味・関心を持たせる。
2 「自分でもこんなことができるようになるのかしら……」とため息をつく井関さんはどう思っているのでしょうか。 ・阪口さんのようにはとでもできない。 ・こんなことをしていて織れるようになるのだろうか。	2 赤穂緞通を見せ、緞通織りの美しさに感動している主人公の心に共感させる。
3 改めてはさみを握り直し、一心に緞通に向き合う井関さんは、どんなことを考えたのでしょうか。 ・時間をかけて自分でやるしかない。 ・毎日積み重ねていくのが赤穂緞通織りなのだ。	3 阪口さんの「技術」にだけ目がいき、上手くできないことに気落ちする主人公の心を考えさせる。 4 阪口さんの言葉を聞いて、伝統の技を継承する意識が主人公に起こっていることをおさえる。
4 「私たちが続けなくては。」という井関さんは、心の中でどんなことを考えていただろう。	5 優れた伝統の技を継承しようとする主人公の心情の高まりを考えさせる。
・阪口さんの意志に応えなくては。 ・美しい赤穂緞通織りを残すのが講習を受けたものの務めだ。 ・このまま個人のものにしておくわけにはいかない。 ・赤穂の誇る織物は伝えていくべきものだ。 5 井関さんの思いをビデオで視聴する。 6 本時の学習を振り返り感想を書く。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           ○ 井関さんの姿を通して、自分たちの暮らす地域の良さを知り、優れた伝統文化を大切にしようとする思いを感想に記述することができたか。（作文）         </div>

## 中学校 事例8 「人としての修行－鶴澤友路－」(心かがやく)

### 1 めざす生徒像

- ◆ いのちを大切にし、人間尊重の心情やよりよく生きる力、ともに生きるための道徳性、発達段階に応じた道徳的実践につながる道徳的実践力を身に付けた生徒。

#### 設定の理由

- ◆ 本校の生徒は、家庭や地域の教育的な風土を基盤として、生命を尊重し、思いやりを持って人に接したり、自主的にボランティア活動や地域の伝統・文化継承の取組に参加したりと、学校教育以外でも道徳性を養っている。しかし、価値観の多様化、高齢化・少子化等による社会情勢の変化、急速に進展し続ける情報化など、生徒たちを取り巻く様々な要因により、道徳の時間に培った道徳的実践力を発揮できず、悩んだり、友人同士ぶつかったりすることも見受けられる。そこで、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心を持ち謙虚に他に学ぼうとする道徳的心情を育てたい。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心を持ち謙虚に他に学ぶ。2-(5)
- ◆ 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。3-(1)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本中学校 心かがやく 資料名 「人としての修行－鶴澤友路－」  
 主題名：謙虚な心 内容項目 2-(5)

### 4 めざす生徒像への位置付け(本時のねらい)

- ◆ 母親の言葉の意味から、芸を磨く前にしなければいけないことに気付く主人公を通して、自分を見つめ直し、相手の気持ちや他者の意見を謙虚に受け入れ、学ぼうとする道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 呂調に相三味を断られ、大粒の涙をこぼれた友路はどんな気持ちだったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に悔しい。</li> <li>・年齢だけで私を認めないなんて納得できない。</li> <li>・せめて私の三味線を聞いてくれればいいのに。</li> </ul>	1 主人公は、年齢だけで判断され、三味線の腕で評価されなかったことを悔しく思っていることに気付かせる。
2 再び呂調から「君香の三味線じゃお断りします。」と相手にされなかった時、友路はどんなことを思ったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしてまだ認めてもらえないのか。</li> <li>・三味線の腕には自信がある。それなのに何が駄目なのか。</li> <li>・いったい私に何が不足しているのか。</li> </ul>	2 宗家から名ももらい、三味線の腕には自信をもっている主人公が、寛容さや謙虚さを失っていることに気付かせる。
3 「人として……。」とつぶやきながら、友路はどんなことを考えていたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・呂調師匠は、三味線の腕を認めていないのではないのか。</li> <li>・呂調師匠は、人として信頼される人間かを問うているのだ。</li> <li>・自分の三味線の腕にうぬぼれていたのかもしれない。</li> <li>・友次郎師匠のあの心に響く音色は、人としての魅力なのだ。</li> </ul>	3 よみがえった母の言葉と心の中で響いた友次郎師匠の三味線の音色がきっかけとなり、謙虚に自分を見つめる意識が主人公に起こっていることに気付かせる。
4 真新しい足袋を履き、心の背筋をピンと伸ばし、呂調のいる宿へ向かう友路は何を考えていたのだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人の人間としての私を呂調師匠に見ていただこう。</li> <li>・うぬぼれを捨てて、一から三味線を勉強しよう。</li> <li>・これからは「人としての修行」に精進しよう。</li> </ul>	4 気持ちを新たにし、人としての修行に精進しようと思える主人公が、謙虚に他に学ぼうという心情を高めていることを考えさせる。
5 今日の授業の感想を書く。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 母の言葉をきっかけに呂調の本意に気付く主人公を通して、自分を見つめ直す発言ができたか。(観察)(会話)</li> <li>○ 相手の気持ちや周囲の人の意見を謙虚に受け入れることの大切さについて感想に記述できたか。(作文)</li> </ul> </div>

## 中学校 事例9 「ひとすじの道 - 城ノブ-」(心かがやく)

### 1 めざす生徒像

- ◆ 自他に対する思いやりの心を持ち、社会性を育み、自己実現を図る生徒。
- ◆ 自主的・主体的に学び、自らの課題を乗り越える力を持つ生徒。

#### 設定の理由

- ◆ 小学校では、注意されたことは素直に聞くことができるが、善悪を主体的に判断し、行動するところに課題がある。また中学校では、集団のつながりの強さや温かさがある一方、人間関係が変わらず、向上心、問題処理力など、変化に対応できるたくましさに欠ける。これらのことから、主体性や社会性、相手の立場に立って考えたりすることに課題があるといえる。そこで、主体性や社会性、自他に対する思いやりを重点項目とした取組を行うことにより道徳的实践力を養いたい。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志を持つ。1-(2)
- ◆ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心を持つ。2-(2)
- ◆ 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。4-(3)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本中学校「心かがやく」資料名 「ひとすじの道 - 城ノブ-」  
 主題名：差しのべる手 内容項目2-(2)

### 4 めざす生徒像への位置付け(本時のねらい)

- ◆ 社会的に弱い立場にあった女性たちの救済と自立を願って働き続けるノブを通して、温かい人間愛の精神を深め、他の人々を思いやる道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
<p>1 ノブは、ふと、新聞を握りしめている自分の手を見て、どんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この手で、まず行動を起こさなければ。</li> <li>・この手で実際に困っている女性たちにふれて、話を聞こう。</li> <li>・この手で自分ができることを精いっぱいやろう。</li> <li>・この手の温かさを伝えよう。</li> </ul>	<p>1 主人公が神戸の地で過ごすことになる経緯を説明しておく。</p> <p>2 主人公は、温かい人間愛の精神から、自分が行動を起こすことを決意していることに気付かせる。</p> <p>3 相手を丸ごと肯定的に受け止めようとする主人公の思いを考えさせる。</p>
<p>2 ノブは、女性の手になんか思いで自分の手を重ねたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に大変でしたね。もうどうか安心してください。</li> <li>・あなたのすべてを受け止めますよ。</li> <li>・私はあなたを必ず守りますよ。</li> </ul>	<p>4 女性が生きる希望をもって巣立つことを喜ぶとともに、これから訪れるであろう人々を慈しむ思いで迎えようとしている、主人公の人間愛に支えられた他人を思いやる心情の高まりを考えさせる。</p>
<p>3 彼女を見送りながら、まっすぐな坂道の遠くに見える海を見るノブは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしく強く生きたい。</li> <li>・一人でも多くの人たちの力になりたい。</li> </ul>	<p>○ ノブの強い信念が多くの女性の命を救い、自立へと導いた。その生き方を浮き彫りにするために、時代背景をとらえ、主人公の生き方を貫くものを捉えて、発言することができたか。(観察)(会話)</p> <p>○ 資料に書き込まれたノブの「手」のはたらきを、主人公の心情にそって読み進め、感想に思いやることの大切さを記述できたか。(作文)</p>
<p>4 題名「ひとすじの道」に込められたものは何の象徴だったか、本時をふりかえって書く。</p>	

## 中学校 事例10 「夕やけ小やけの赤とんぼ -三木露風-」(心かがやく)

### 1 めざす生徒像

- ◆ 他者の思いに寄り添える生徒。
- ◆ 自分に自信を持ち、しっかりと自分の思いを表現できる生徒。
- ◆ 人間としてのよりよい生き方をめざす生徒。

#### 設定の理由

- ◆ 中学校区の生徒の特徴として、「明るく素直であるが自主性・主体性に欠ける」「周囲を気にして自分の思いや考えを表現しにくい」といった課題が教職員からあげられている。また、道徳意識調査の結果からは、1の視点に関する項目や、思いやり、郷土愛に関する項目の自己評価の値が低くなっており、具体的な課題としてとらえることができる。逆に家族愛の自己評価の値は高いが、家庭生活のあり方が人間としての基礎であることから、さらに生徒の家族愛に関する意識を高める必要がある。

### 2 重点とする内容項目

- ◆ 自立の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。 1-(3)
- ◆ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。 2-(2)
- ◆ 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。 4-(6)

### 3 授業例

兵庫版道徳教育副読本中学校 心かがやく 資料名「夕やけ小やけの赤とんぼ -三木露風-」  
 主題名：家族を愛する心 内容項目 4-(6)

### 4 めざす生徒像への位置付け(本時のねらい)

- ◆ 「赤とんぼ」に込められた露風の切ない思いを通して、居ることが当たり前でない家族について気づき、かけがえのない家族を大切にしていこうとする道徳的心情を育てる。

### 5 授業展開の例

学習活動	展開の概要
1 童謡「赤とんぼ」を聴く。	1 心に響いた部分に線を引かせ、あとで発表することを指示してから範読する。
2 「ここがいいな。」「ここを考えたいな。」 というところを発表しましょう。  ・居ることが当たり前ではない家族 ・一人見つめる操 ・幼い頃の孤独で空虚な思いは、心の中から消えることがなかったに違いない。 ・龍野の美しい風景と、操の寂しい思いが歌になった。 ・「赤とんぼ」の歌の背景にあるもの	2 色々な箇所が上がってくると思われるが、その理由も聞き、丁寧に生徒の気持ちを聞き取るようにする。「家族」についての思いが深まればなおよい。  3 中心発問とする前後の文章の言葉をとらえ中心発問を深めさせる。 ① 『きっと』には操のどのような思いが込められているのか。 ② 『来る日も来る日も』には操のどのような思いが込められているのか。 ③ 『一人』見つめていたのは、どのような思いからなのか。
3 操は、夕やけに染まった西の空をどんな思いで見つめていたのでしょうか。	4 操の行動を通じて、操の思いに寄り添いながら、家族を愛する心に気付かせる。
・お母さんに会いたい。 ・いつ帰ってくるのかなあ。 ・元気かな。 ・ねえやの背中よりお母さんの背中がいいよ。 ・お母さんと見た赤とんぼがとんでいよ。	5 露風の気持ちや、「家族」について深めた自分の思いを想起させながら聴かせる。
4 もう一度、童謡「赤とんぼ」を聴きましょう。	○ たとえ離れていようが、信頼関係や深い愛情により、家族は強い絆で結ばれているということをつかえ、発言することができたか。(観察)(会話) ○ 家族を大切にしていこうとする思いを感想に記述することができたか。(作文)
5 感想を書く。	

# V章 資料

## 授業研究

### ① 教材の分析と授業計画

1. 資料名 (出典)	小野のそろばん 兵庫版道徳教育副読本「心きらめく」											
2. 骨格	①生き方を自覚したのは誰か	かず										
	②生き方を自覚する(助言となる)出来事は何か	お母さんと宮本さんの言葉										
	③生き方を自覚するのはどこか	最初は右手で持ち上げ、すぐに両手で持ち直した。										
3. 構図	<div style="text-align: center;"> <p>(生き方を深く考える) (生き方を変える)</p> <p>出来事 (助言)</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">自覚する前</td> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%;">自覚する</td> <td style="width: 25%;">自覚した後</td> </tr> <tr> <td>                 ゴロ 転が ブル の上 でゴ ロ             </td> <td>                 そろばん なんて 、 そん 単に 。機 械で つく れか             </td> <td>                 ・宮本 さん の言 葉 ・一 人 で も 多 く の 人 に 使 い や す い の と 思 っ て も ら え い る よ う に 気 持 ち を 込 め て 作 っ て る な ん で 。 ・お 母 さ ん の 言 葉 が ぎ っ し り と つ ま っ て い る よ う で 。             </td> <td>                 ちげ 、最 初 は 右 手 で 持 ち 上 げ 、 直 ぐ に 両 手 で 持 ち 直 し た 。             </td> <td>                 そろ ば ん を は じ め て 、 そ ん な こ と を い ら れ る よ う に な り た い と 思 っ た 。             </td> </tr> </table>			自覚する前		自覚する	自覚した後	ゴロ 転が ブル の上 でゴ ロ	そろばん なんて 、 そん 単に 。機 械で つく れか	・宮本 さん の言 葉 ・一 人 で も 多 く の 人 に 使 い や す い の と 思 っ て も ら え い る よ う に 気 持 ち を 込 め て 作 っ て る な ん で 。 ・お 母 さ ん の 言 葉 が ぎ っ し り と つ ま っ て い る よ う で 。	ちげ 、最 初 は 右 手 で 持 ち 上 げ 、 直 ぐ に 両 手 で 持 ち 直 し た 。	そろ ば ん を は じ め て 、 そ ん な こ と を い ら れ る よ う に な り た い と 思 っ た 。
自覚する前		自覚する	自覚した後									
ゴロ 転が ブル の上 でゴ ロ	そろばん なんて 、 そん 単に 。機 械で つく れか	・宮本 さん の言 葉 ・一 人 で も 多 く の 人 に 使 い や す い の と 思 っ て も ら え い る よ う に 気 持 ち を 込 め て 作 っ て る な ん で 。 ・お 母 さ ん の 言 葉 が ぎ っ し り と つ ま っ て い る よ う で 。	ちげ 、最 初 は 右 手 で 持 ち 上 げ 、 直 ぐ に 両 手 で 持 ち 直 し た 。	そろ ば ん を は じ め て 、 そ ん な こ と を い ら れ る よ う に な り た い と 思 っ た 。								
4. 中心発問	そろばんをすぐに両手で持ち直した「かず」は、どんなことを考えたのだろう。											
5. 中心発問に対する 予想される児童の 反応(答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃにして遊んでごめんなさい。</li> <li>・大切に使う。</li> <li>・このそろばんには、宮本さんの思いがぎっしりとつまっている。</li> <li>・宮本さんの思いがこもっているから重く感じた。</li> <li>・一人でも多くの人に使ってもらいたいという思い。</li> <li>・一つ一つ一生懸命作った宮本さんの頑張り・努力。</li> </ul>											
6. 主題・内容項目	働くことの意味2 - (2)											
7. ねらい	資料の活用を簡潔に表記する。主人公が道徳的に変化する場面は、「出来事(助言)」の部分抜き出して表記する。 (A) 宮本さんとお母さんの思いを聞き、道徳的に変化する主人公を通して (B) 働くことの大切さを知り、みんなのために進んで働こうとする (C) 道徳的心情を育てる											
	内容項目から児童生徒の状況や発達段階に応じて引き出す。 道徳性の要素(道徳的心情、道徳的判断力、道徳的実践意欲)を入れる。											
8. ねらいとする 道徳的価値	働くことと聞くと大人の仕事だと児童は考えるかもしれないが、児童自身も学校では係活動や清掃、家庭ではお手伝いなど様々な場所で働くという活動を行っている。働くこと大切さ、働くことの誇り、みんなのために働くという心情をこの資料を通して考えさせたい。											
9. 中心発問以外の場面の発問	予想される児童生徒の反応(答)											
場面	そろばんをゴロゴロ動かし、お母さんにしかられたときどう思っていたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしてそんなに怒るの。</li> <li>・みんなこうやって遊んでる。</li> <li>・そろばんなんて簡単に機械で作ることができる。</li> </ul>										
場面	うつむいたまま、顔をあげられないでいる「かず」はどんなことを思っているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そろばんで遊んだりして悪かった。</li> <li>・工場で作ると思っていた。</li> <li>・そろばん作りにはすごい技術が必要なんだ。</li> <li>・一つ一つ心をこめて作っているなんて知らなかった。</li> </ul>										
場面	お母さんは宮本さんのそろばんにどんな思いを持っているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使いやすい</li> <li>・宮本さんの心がぎっしりとつまっている。</li> </ul>										

## ② 実際の授業

教師の発問・指示	児童の反応
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">片手から両手に持ち直した時のかずは、 どんなことを考えていたでしょう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうして両手で持った？</li> <li>・ ずっしりの気持ちって何？</li> <li>・ ずっしりと重くなったから片手で持ち上げられない。つまっている重みって何？</li> <li>・ 気持ちって何？</li> <li>・ 何で手作りにこだわる？</li> <li>・ 誰に対して？</li> <li>・ どうして？</li> <li>・ 自分からすすんで、皆のために。</li> <li>・ すべりがいいって言っていましたね。</li> <li>・ 仕事だからだけでなく、自分のため、みんなのために働いているんですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のしたことを反省している。</li> <li>・ おもちゃにして申し訳ない。</li> <li>・ これからはおもちゃにせずに大切にしたい。</li> <li>・ 気持ちがずっしりこもっていて思い。</li> <li>・ 宮本さんやお母さんの気持ちがそろばんの中に、心の中に入ったから。</li> <li>・ そろばんにあやまっている。</li> <li>・ おっちゃんのそろばんは、滑りがいいから。</li> <li>・ 工場の中の様子で、0.1ミリ単位も合わせているのに、おもちゃにしていたから、そろばんにもあやまっている。</li> <li>・ 宮本さんの気持ち。</li> <li>・ 機械で作らずに手で作っているから、手作りのそろばんだから。</li> <li>・ いくら機械がすごくても、人間の手で作ったから。</li> <li>・ 歴史があって、大切に使っていきたい。</li> <li>・ 長い間使われていて、なんぼお古でも使ってもらいたいから。</li> <li>・ 長く使ってほしいから、心をこめて作っている。</li> <li>・ 長い間だけではなく、みんなに使ってもらいたいと思っている。</li> <li>・ 伝統を守る、丈夫なものを、という思い。</li> <li>・ 宮本さんの伝統で、しょうがなくでなく、自分から作りたいと思っていた。</li> <li>・ 使いやすいそろばんをみんなのために。</li> <li>・ 使いやすいそろばんをみんなに使わせてあげたい。</li> <li>・ そろばんをみんなに使ってもらって、気持ちの込められたそろばんを自分のためにも作りたい。</li> </ul> <p>(感想を書く)</p>

## ③ 事後研究

事後研究は、本時のねらい、発問、資料提示の仕方、児童の対話などについて、協議を深めましょう。以下は、実際の協議の中で出た発言例です。

### 1 ねらいについて

- ・ ねらいの「働く」を指導者が深く考えておく。辞書であってもいいので確認しておくとうい。
- ・ 内容項目について、学習指導要領解説を読み、指導者がとらえておくことが重要である。

### 2 発問について

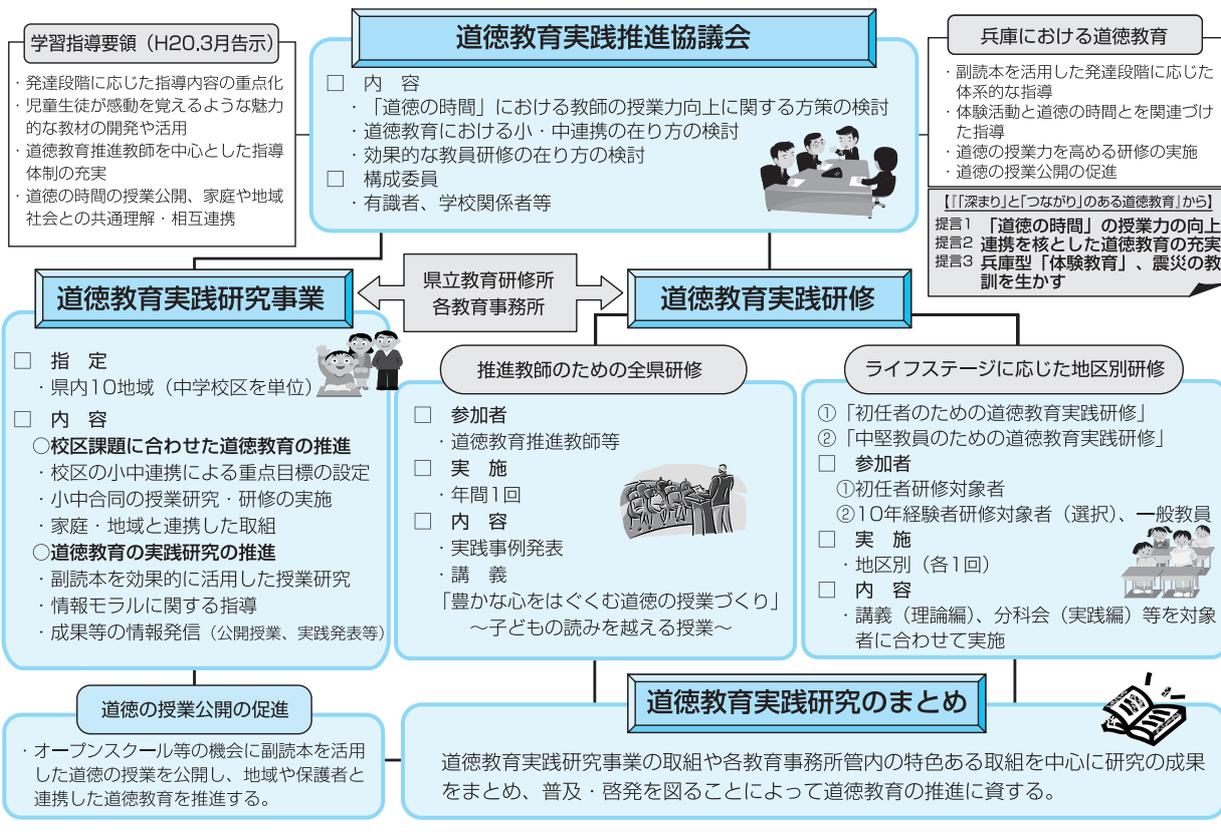
- ・ 児童が発表した抽象的な言葉は、教師が発表者に問いなおすとよい。
- ・ 児童が「愛情」と言った時に、全体に流さずに発言をした児童に「愛情」について聞くとよい。
- ・ 同じテンポなので、大事なところで立ち止まる必要がある。「すごいのがでたね」などと、ゆっくり授業展開が重要である。
- ・ 補助発問の準備をし、さらに問う。急がずにゆっくり進めることが大切である。

### 3 資料提示について

- ・ 写真や挿絵を使いすぎず、資料に書いてあることでじっくり考えさせる。
- ・ 低学年では挿絵で児童の想像力を補うことは有効である。

# 平成25年度 道徳教育推進事業

【事業趣旨】 兵庫版道徳教育副読本（以下、副読本）の効果的な活用への定着に向けて、教師の授業力向上を図るとともに、学校と家庭・地域が連携した兵庫県の道徳教育を推進する。



## 平成 25 年度道徳教育実践研究事業 推進地域

地 区	学 校 名
神 戸 市	神戸市立布引中学校 神戸市立中央小学校
阪 神	西宮市立平木中学校 西宮市立平木小学校 西宮市立広田小学校
宝 塚	宝塚市立中山五月台中学校 宝塚市立中山桜台小学校 宝塚市立中山五月台小学校
播 磨 東	加古川市立志方中学校 加古川市立志方小学校 加古川市立志方東小学校 加古川市立志方西小学校
加 東	三木市立志染中学校 三木市立志染小学校
播 磨 西	姫路市立広嶺中学校 姫路市立広峰小学校 姫路市立城北小学校
光 都	赤穂市立赤穂東中学校 赤穂市立尾崎小学校 赤穂市立御崎小学校
但 馬	朝来市立朝来中学校 朝来市立中川小学校 朝来市立山口小学校
丹 波	丹波市立和田中学校 丹波市立和田小学校
淡 路	淡路市立東浦中学校 淡路市立釜口小学校 淡路市立学習小学校 淡路市立浦小学校

## 平成25年度 兵庫県道德教育実践推進協議会委員

	職 名	名 前
学識経験者	関西学院大学大学院元教授	横山 利弘
	兵庫教育大学大学院教授	谷田 増幸
	関西学院大学非常勤講師	行本 美千子
	兵庫教育文化研究所副所長	福岡 弘美
学校関係者	加東市立三草小学校長	山城 あゆみ
	神戸市立櫛谷中学校長	飯田 敏三
	芦屋市立浜風小学校教諭	高橋 久美子
	上郡町立上郡中学校教諭	森中 誠
行政	朝来市教育委員会学校教育課主幹	小倉畑 祐貴

	職 名	名 前
事務局	義務教育課長	横山 一郎
	義務教育課主任指導主事兼生徒指導係長	細見 博文
	義務教育課指導主事	歳内 利裕

### 参 考 資 料

**指導資料「副読本の効果的な実践のために」**

－平成23年度道德教育推進拠点校事業、平成24年度道德教育推進地域・推進校事業－  
（平成25年3月）

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/doutoku/shidoushiryou.pdf>

**平成23年度「兵庫県道德教育推進協議会」提言**

「深まり」と「つながり」のある道德教育

－「兵庫版道德教育副読本」の有効な活用をめざして－（平成24年3月）

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/doutoku/teigen.pdf>

**「生命を尊重する心」と「規範意識」の育成（平成22年3月）**

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/houkoku/21doutokutebiki.pdf>

指導資料

**「道徳の時間」の充実のために**

平成26(2014)年3月

発行 兵庫県教育委員会

連絡先 〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL (078)341-7711(代表)

25教T1-017A4